お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.jp/**

[弊社製品に関するお問い合わせ]
お客様相談センター **ナビダイヤル 0570-001313**
（市内通話料金でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS、IP 電話の方は、右記の電話番号をご利用ください。 **☎03-3960-3200（代）**

〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
営業時間 午前 9：00 ～午後 6：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[ショールーム・写真展・修理受付]
ペンタックスフォーラム **☎03-3348-2941（代）**

〒 163-0690 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル MB（中地下 1 階）
営業時間 午前 10：30 ～午後 6：30
休業日 毎週火曜日、年末年始およびビル点検日

ユーザー登録のお願い
お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
付属しています CD-ROM と弊社ホームページから登録が可能です。
同梱の「PC 接続ガイド」（表面右下）をご参照ください。

HOYA株式会社
PENTAXイメージング・システム事業部
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。
53330
H02-200805
Printed in China

Optio E50

PENTAX

デジタルカメラ

Optio E50

使用説明書

カメラの正しい操作のため、
ご使用前に必ずこの使用説明書
をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptio E50をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を十分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、OptioおよびオプティオはHOYA株式会社の登録商標です。
SDHCロゴは商標です。
本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。
PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

PictBridgeについて

PictBridgeは、プリンターとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

本文中のイラストおよび液晶モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

 警告 このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

 注意 このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

 警告

- カメラを分解・改造などしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のACアダプターをご使用になったり、専用のACアダプターを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止して電池またはACアダプターを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- 充電式のニッケル水素電池以外は充電しないでください。破裂・発火の恐れがあります。このカメラに使用できる電池の種類で、ニッケル水素電池以外は充電ができません。
- ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

電池の取り扱いについてのご注意

- このカメラは、単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケル水素電池、単3形ニッケルマンガン電池のいずれか2本を使用します。これら以外の電池は使用しないでください。カメラの性能が十分に発揮できない場合や、電池の破裂、発火の原因となることがあります。
- 単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケルマンガン電池は充電ができません。また電池は分解しないでください。無理に充電や分解をすると、破裂や液漏れの原因となります。
- 電池を交換するときは、メーカー、種類、容量の異なる電池を混ぜて入れないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて入れないでください。電池の破裂、発火の原因となります。
- 電池の「＋」と「－」の向きを間違えて入れないでください。電池の破裂、発火の原因となります。

ACアダプターについて

 注意

- AC コードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理にまげたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、AC コードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SD メモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションを入れて保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。

- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード使用上の注意」（p.24）をご覧ください。
- SDメモリーカードや内蔵メモリーに記録されたデータは、カメラやパソコン等の機能による消去やフォーマットを行っても、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。データの取り扱いや管理は、お客様の責任において行ってください。
- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニターの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり液晶モニターが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

目次

付録 134

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 撮影を始める前に

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作を説明しています。撮影をはじめる前に必ずお読みになり、操作を行ってください。

2 クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影、再生したいときは、このページをご覧ください。

3 操作の基本

各ボタンの機能、メニューの設定方法など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、4章以降をご覧ください。

4 撮影する

さまざまな撮影の方法や、撮影に関する機能の設定方法を説明しています。

5 再生する・消去する

静止画や動画をカメラやテレビで再生する方法、カメラから消去する方法について説明しています。

6 画像編集する・印刷する

撮影した静止画の印刷方法や、カメラで編集する方法を説明しています。撮影した画像をパソコンへ保存する方法とACDSee for PENTAXのインストール方法は別紙の「PC接続ガイド」を、パソコンでの画像の加工や印刷方法は、ACDSee for PENTAXのヘルプをご覧ください。

7 音声を録音する・再生する

このカメラのマイクを使って音声を録音する方法(ボイスレコーディングモード)、音声の再生のしかたを説明しています。

8 設定

カメラに関する機能の設定方法について説明しています。

9 付録

困ったときの対処のしかたや、別売品の案内などをしています。

操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

このカメラの楽しみ方

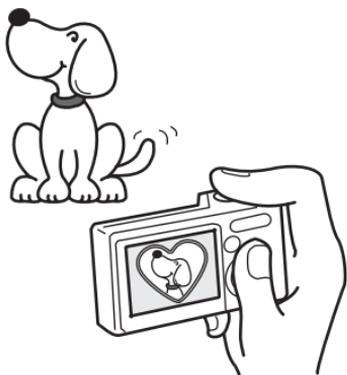
Optio E50では、撮りたいシーンや被写体に合わせた撮影を、カンタン操作で楽しめます。ここではOptio E50の特長をご紹介します。操作説明のページもあわせてご覧いただき、Optio E50の楽しさを味わってください。

撮影も再生も、カメラがナビゲート！

Optio E50は、大きく見やすい2.4型液晶モニターを搭載しています。シーンに合わせた撮影や、画像の再生・編集も、液晶モニターに表示されるアイコンを選ぶだけのカンタン操作です。
気軽に撮りたいときは、（グリーンモード）。むずかしい設定はなし、ボタンひとつでいつでも撮れる便利なモードです。（p.48）
撮影モード選びに迷ったら、AUTO PICT（オートピクチャーモード）を。カメラが撮りたいシーンにピッタリなモードを選んでくれるので、失敗もありません。*（p.50）

* AUTO PICT（オートピクチャーモード）では、☺（標準モード）、（夜景モード）、（風景モード）、（ポートレートモード）の中から最適な撮影モードが選ばれます。

- **めんどうな設定はカメラにまかせて。**
- **グリーンモードを使うと、標準設定で手軽に撮影可能。**

パノラマ写真やフレーム付き写真が楽しい！

Optio E50では、お子様やペットの写真をかわいいフレームを付けて撮影できます。（p.57）撮った写真に後からフレームを合成することももちろんOK! またパノラマ写真もパソコンを使わずに簡単に撮影できます。（p.59）

- **フレームを使った記念写真に。**
- **パノラマ撮影でダイナミックな風景写真を。**

パソコンなしで、お手軽プリント！

PictBridge対応のプリンターなら、カメラをUSB/AVケーブルでつないでダイレクトにお気に入りの写真をプリントできます。
せっかく撮った写真を家庭でプリントしたいけど、パソコンの操作はどうも難しくて・・・なんてあきらめる必要はありません。

- **パソコンを使わず、お手軽ラクラクプリント。**

撮った画像はカレンダーで表示！

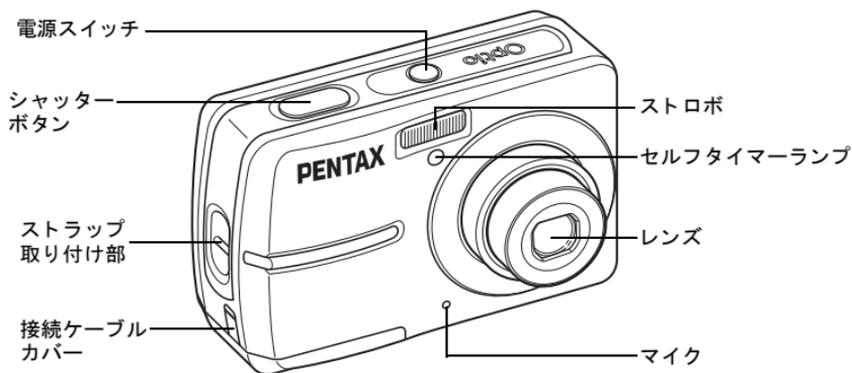
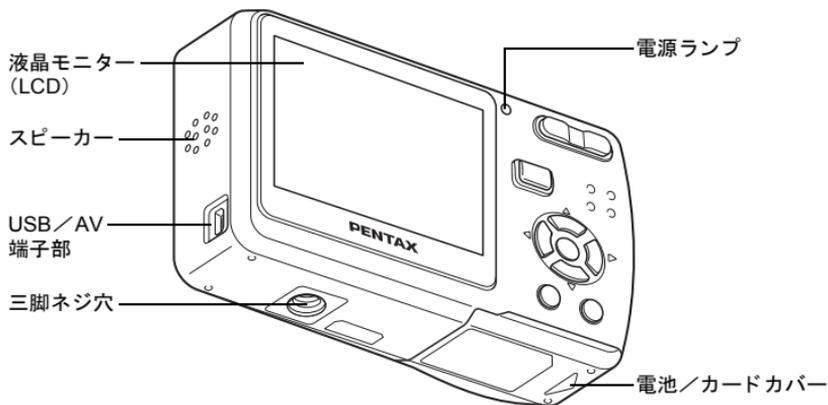
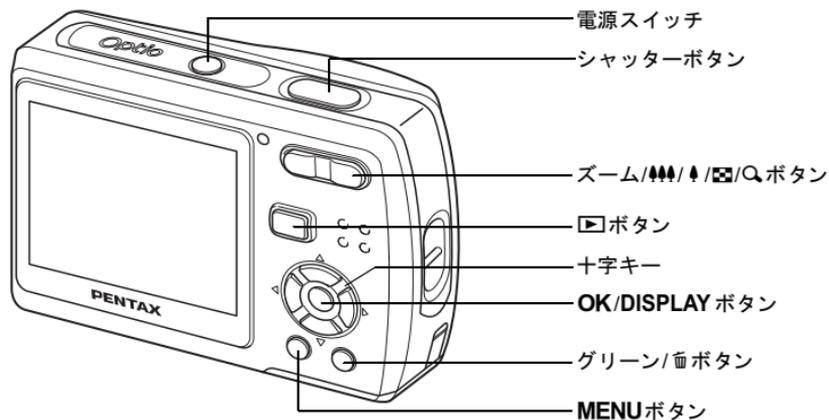
たくさん撮った画像の整理はたいへん。でもOptio E50なら撮影日ごとにカレンダー表示できるので、アルバムをめくるように、大切な一枚を見つけることができます。（p.86）

各部の名称

前面

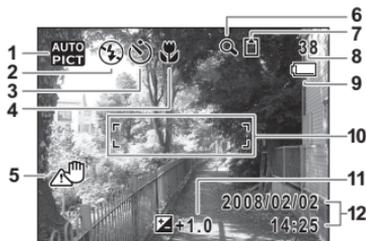
電源スイッチ
シャッター
ボタン
ストロボ
セルフタイマーランプ
PENTAX
Optio
ストラップ
取り付け部
レンズ
接続ケーブル
カバー
マイク

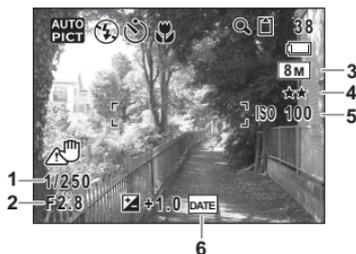
背面

液晶モニター
(LCD)
電源ランプ
スピーカー
USB／AV
端子部
PENTAX
三脚ネジ穴
電池／カードカバー

操作部の名称

各ボタンの機能については、「ボタンのはたらき」(p.36～p.39)をご覧ください。

画面表示の意味

静止画撮影モード 通常表示

撮影条件などを表示します。

1 撮影モードアイコン（p.45）
2 ストロボモード（p.69）
3 ドライブモード（p.74～p.76）
4 フォーカスモード（p.66）
5 手ぶれ警告表示（p.73）
（シャッターボタンを半押ししたときのみ表示されます）
6 デジタルズーム表示（p.65）
7 メモリー状態表示（p.26）
：内蔵メモリー（カードなし）
：SDメモリーカード
：カードロック状態
8 撮影可能枚数
9 電池残量表示（p.19）
10 フォーカスフレーム（p.31）
11 露出補正値（p.72）
12 現在の日時（p.29）

静止画撮影モード フル表示
（説明のためにすべてを表示させたイラストで記載しています。）

1 シャッター速度
（シャッターボタンを半押ししたときのみ表示されます）
2 絞り値
（シャッターボタンを半押ししたときのみ表示されます）
3 記録サイズ（p.62）
4 画質（p.64）
5 ISO感度（p.71）
6 日付写し込み警告（p.77）

静止画再生モード フル表示
（説明のためにすべてを表示させたイラストで記載しています。）

撮影条件などを表示します。A1～A10は「通常」表示、「詳細情報」表示のいずれの場合も表示されます。B1～B5は「詳細情報」表示のときにのみ表示されます。（p.84）

- **A1** 再生モードアイコン（p.47）
- **A2** フォルダ番号（p.125）
- **A3** ファイル番号
- **A4** 画像プロテクト表示（p.96）
- **A5** 電池残量表示（p.19）
- **A6** 音量表示（p.120）
- **A7** メモリー状態表示（p.26）
  - ：内蔵メモリー（カードなし）
  - ：SDメモリーカード
  - ：カードロック状態
- **A8** 撮影日時（p.29）
- **A9** 十字キー操作ガイド
- **A10** キーロック表示（p.48）
- **B1** 記録サイズ（p.62）
- **B2** 画質（p.64）
- **B3** ISO感度（p.71）
- **B4** シャッター速度
- **B5** 絞り値

通常表示時に、２秒間ボタン操作をしないと、A5、A8の表示は消えます。

「ボタン操作ガイド」について

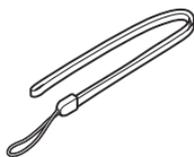
操作中は液晶モニターに「ボタン操作ガイド」が表示されます。
「ボタン操作ガイド」では、ボタンは次のように表されます。

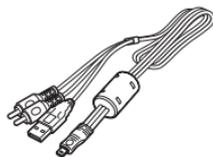
十字キー（▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー（◀）	◀
十字キー（▶）	▶
MENUボタン	MENU

ズームボタン	🔍
OK/**DISPLAY**ボタン	OK
シャッターボタン	SHUTTER
グリーン/🗑ボタン	⦿または🗑

同梱品を確認しましょう

以下の同梱品が入っていることを確認してください。

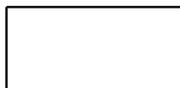
本体
Optio E50

ストラップ
O-ST62（※）

ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW77

USB/AVケーブル
I-UAV77（※）

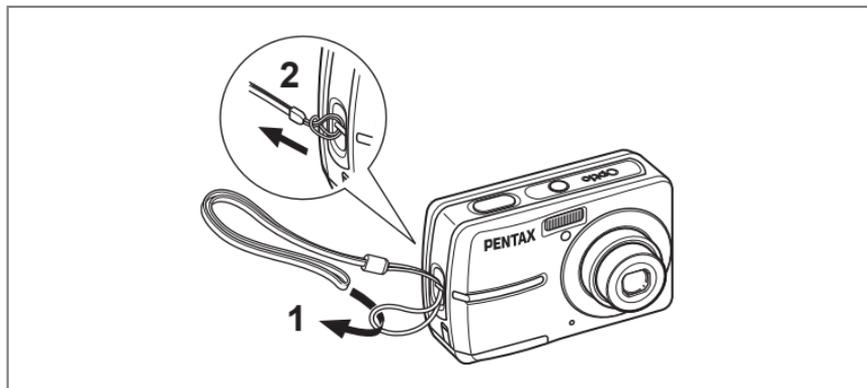
単3形アルカリ電池
（2本）

PC接続ガイド

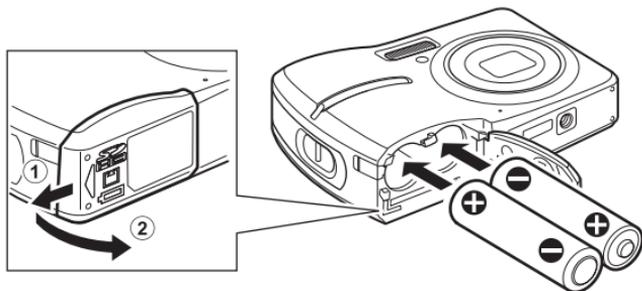
使用説明書（本書）

保証書

（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売アクセサリーについては、「別売アクセサリー一覧」（p.138）をご覧ください。

ストラップを取り付けましょう

付属のストラップ（O-ST62）を取り付けます。

1　ストラップの細いひもの部分を、本体のストラップ取り付け部に通す

2　ストラップの端を細いひもの輪にくぐらせて引き締める

電源を準備しましょう

電池の入れかた

カメラに電池をセットします。電池は単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケル水素電池、単3形ニッケルマンガン電池のいずれかを2本使用します。

1　電池／カードカバーを開ける

電池／カードカバーを①の方向に引き出します。手を離すと、②の方向に自然に開きます。

2　電池の向きを電池室内の＋－表示に合わせて、挿入する

3　電池／カードカバーを閉めて、①と逆方向に水平に押し込む

- 単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケルマンガン電池は充電式ではありません。
- 電源スイッチがオンのときは、電池／カードカバーを開けたり、電池を取り出したりしないでください。
- 長い間使わないときは、電池を取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、電池が液もれすることがあります。
- カメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押すと「電池容量がなくなりました」のメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。しばらく待ってから再度電源スイッチを押すと、正常に電源が入ります。また、このとき、日時の設定がリセットされることがあります。
- 電池は正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。また、電池の電極をよく拭いてから装填してください。

長時間連続してご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC62J（別売）をご使用ください。（p.20）

• 静止画撮影可能枚数と再生時間の目安
（単3アルカリ電池使用時・23℃・液晶モニター点灯・電池交換時）

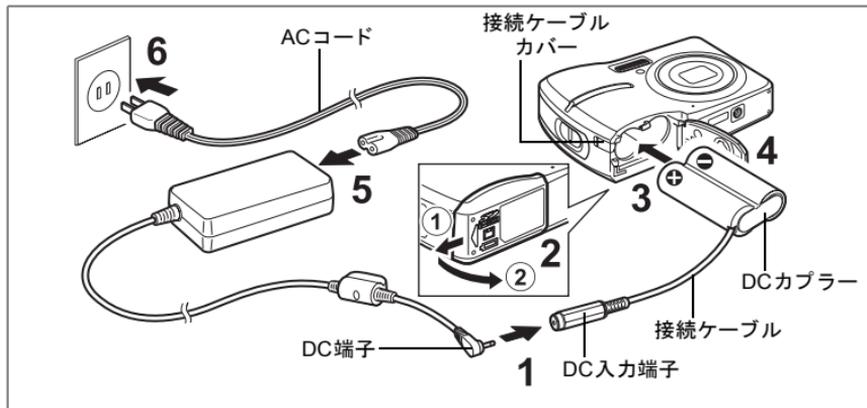
静止画撮影枚数※1	再生時間※2
約250枚	約340分

※1：撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。（CIPA規格抜粋：液晶モニターON、ストロボ使用率50%、23℃）
※2：時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。

- 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備の電池を用意して衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、低温によって低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 単3形アルカリ電池、単3形ニッケルマンガン電池は特性上、低温ではカメラの性能を十分に発揮できないことがあります。低温でご使用の際は、単3形リチウム電池や単3形ニッケル水素電池の使用をお勧めします。
- 海外旅行などの長期のおでかけ、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備電池をご用意ください。

• 電池の残量表示
液晶モニターに表示された で、電池の残量を確認できます。

画面表示	電池の状態
（緑）	電池がまだ十分に残っています。
（緑）	少し減っています。
（黄）	かなり減っています。
（赤）	残量がほとんどありません。
「電池容量がなくなりました」	メッセージ表示後、電源がオフとなります。

単3形ニッケルマンガン電池使用時、電池特性の関係で電池残量が正しく表示されないことがあります。残量が少なくなった電池であっても、電池残量表示が になる場合があります。また、表示が のまま、警告なく電源がオフになることがあります。

ご家庭の電源で使うには

長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプターキットK-AC62J（別売）を接続して、家庭用電源でのご使用をおすすめします。

※ACアダプターキットK-AC62Jは、ACアダプターD-AC62、DCカプラーD-DC51、ACコードD-CO2Jのセットです。

1　ACアダプターのDC端子を、DCカプラーのDC入力端子に接続する

2　カメラの電源が切れていることを確認してから、電池／カードカバーを開ける

電池／カードカバーを①の方向に引き出します。手を離すと、②の方向に自然に開きます。

3　DCカプラーの向きを電池室内の⊕⊖表示に合わせて、挿入する

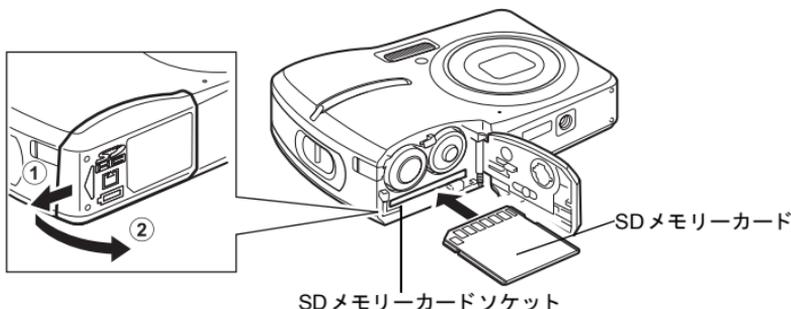
4　接続ケーブルで接続ケーブルカバーを押し開きながら、電池／カードカバーを閉める

電池／カードカバーは、①と逆方向へ水平に押し込みます。電池／カードカバーが開かないよう、奥までしっかり押し込んでください。

5　ACコードをACアダプターに接続する

6　電源プラグをコンセントに差し込む

- AC アダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行ってください。
- 電源および接続ケーブルはしっかりと差し込んでください。記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプターを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。ご使用の前に、必ず「ご注意ください」(p.1)、「ACアダプターについて」(p.3) をお読みください。
- ACアダプターをご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC62Jに同梱の使用説明書をあわせてご覧ください。

SDメモリーカードを入れましょう

このカメラで使用できるのは、SDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードです。(使い方はいずれも同じです。本書では以降SDメモリーカードと表記します。)撮影した画像や録音した音声は、カメラにセットしたSDメモリーカードに記録されます。SDメモリーカードをセットしていないときは、内蔵メモリーに記録されます。

- 未使用または他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SD メモリーカード/内蔵メモリーをフォーマットする」(p.119)をご覧ください。
- SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

撮影できる静止画の枚数は、使用するSDメモリーカードの容量と画像の記録サイズ、画質によって異なります。(p.143)

データバックアップのおすすめ

内蔵メモリーに記録されたデータは、故障などの原因でまれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータは、パソコンなどを利用して、内蔵メモリーとは別の場所に保存しておくことをおすすめします。

1　電池／カードカバーを開ける

電池／カードカバーを①の方向に引き出します。手を離すと、②の方向に自然に開きます。

2　SD メモリーカードのラベル面をカメラの液晶モニター側に向け、カメラのSDメモリーカードソケットに挿入する

カードはカチッと音がするまでしっかり押し込んでください。カードがしっかり入っていないと、画像や音声が正常に記録されないことがあります。

3　電池／カードカバーを閉めて、①と逆方向へ水平に押し込む

SDメモリーカードを取り出す

1　電池／カードカバーを開ける

2　SDメモリーカードを中に押し込む

SD メモリーカードが少し飛び出しますので、そのまま引き抜いてください。

SDメモリーカード使用上の注意

- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。
  液晶モニターでは🔒と表示されます。
- カメラ使用直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SDメモリーカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、またはUSB/AVケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SDメモリーカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、電池を抜いたとき
- SDメモリーカードを長期間使用しない場合、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 一部の書込み速度の遅いSDメモリーカードでは、カードに空き容量があっても動画撮影時に途中で撮影が終了したり、撮影、再生時に動作が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- 未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする」（p.119）をご覧ください。
- フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。廃棄する際にはメモリーカード本体を物理的に破壊する、譲渡する際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
  メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

撮影できる静止画の枚数

静止画の用途に合わせて、「記録サイズ」と「画質」を選びます。
記録サイズは「8M」「5M」「4M」「3M」「2M」「1024」「640」の7種類から選べます。画質は「★★★(S.ファイン)」「★★(ファイン)」「★(エコノミー)」から選べます。設定は、「📷撮影」メニューで行います。

記録サイズを選ぶ ☞p.62

画質を選ぶ ☞p.64

「記録サイズ」と「画質」の組み合わせにより、撮影できる静止画の枚数が変わります。詳しくは下記のページをご覧ください。

撮影枚数と時間（静止画）☞p.143

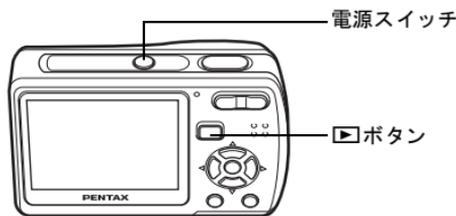
動画を撮影できる時間

動画の用途に合わせて、「記録サイズ」と「フレームレート」を選びます。記録サイズは「640」「320」、フレームレートは「30fps」「15fps」から選べます。設定は、「📷撮影」メニューの「動画」で行います。

動画の撮影条件を決める ☞p.82

「記録サイズ」と「フレームレート」の組み合わせにより、撮影できる時間が変わります。詳しくは下記のページをご覧ください。

撮影時間と録音時間（動画/音声）☞p.144

電源をオン／オフしましょう

撮影モードで電源をオンにする

1 電源スイッチを押す

液晶モニターが点灯し、レンズが前に繰り出して📷モード（撮影モード）で起動します。
カメラの電源を入れたときに、「Language／言語設定」あるいは「日時設定」の画面が表示された場合は、p.28の手順に従って設定を行ってください。

2 もう一度電源スイッチを押す

液晶モニターが消灯し、レンズが収納されて電源がオフになります。

カードチェック

電源をオンにすると、カードチェックが自動的に行われます。SDメモリーカードがセットされていないと、液晶モニターに内蔵メモリーアイコンが表示されます。その場合、画像や音声は内蔵メモリーに記録されます。
またSDメモリーカードのライトプロテクトスイッチがLOCKになっていると、カードアイコンのかわりにロックアイコンが表示されます。ロック状態では画像や音声の記録はできません。

カメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押すと「電池容量がなくなりました」のメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。しばらく待ってから再度電源スイッチを押すと、正常に電源が入ります。また、この場合は日時などの設定が初期化されていることがありますので、p.29の手順に従って設定をしなおしてください。

再生モードで電源をオンにする

Optio E50では、レンズを収納させたまま、再生モードで起動させることができます。撮影はせずに、画像や音声を再生したいときに使います。

1 ▶ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

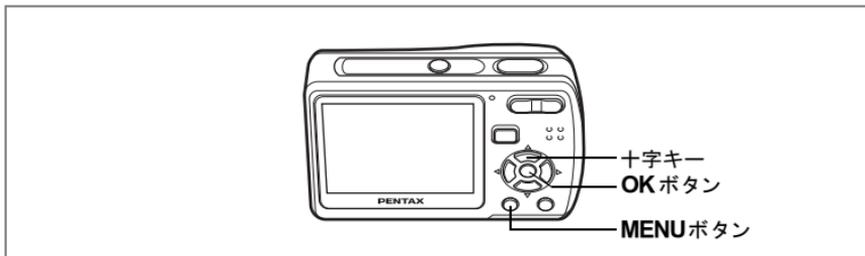
レンズは収納されたまま液晶モニターが点灯し、▶モード（再生モード）で起動します。

2 もう一度▶ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しする

📷モード（撮影モード）に切り替わります。

静止画を再生する ☞p.33

初期設定をしましょう

お買い上げ後、最初にお使いになる前に、まず言語と日時を設定してください。

カメラの電源を入れたときに、「Language/言語」の画面が表示されたら、下記の「言語を選ぶ」の手順で言語を「日本語」に、「日時を設定する」(p.29)の手順で日時を現在の日時に設定してください。
「日時設定」の画面が表示されたら、「日時を設定する」(p.29)に進んでください。

言語を選ぶ

1　十字キー(▲▼◀▶)で「日本語」を選ぶ

2　OKボタンを押す

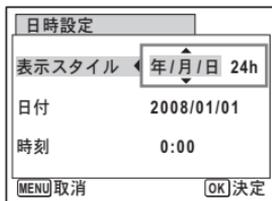
「日時設定」画面が表示されます。
次に「日時を設定する」へ進み、日付表示スタイル、現在の日付と時刻を設定します。

日時を設定する

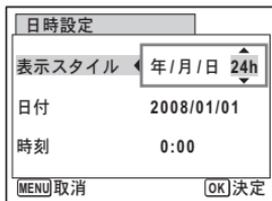
日付の表示スタイルと現在の日付、時刻を設定します。

1　十字キー（▶）を押す

選択枠が「年/月/日」に移動します。

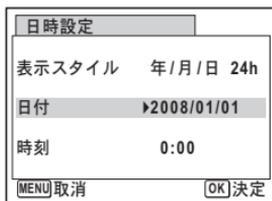
2　十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

3　十字キー（▶）を押す

選択枠が「24h」に移動します。

4　十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を設定する

5　十字キー（▶）を押す

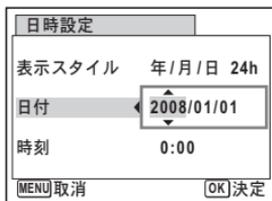
選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

6　十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

7　十字キー（▶）を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。

8　十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

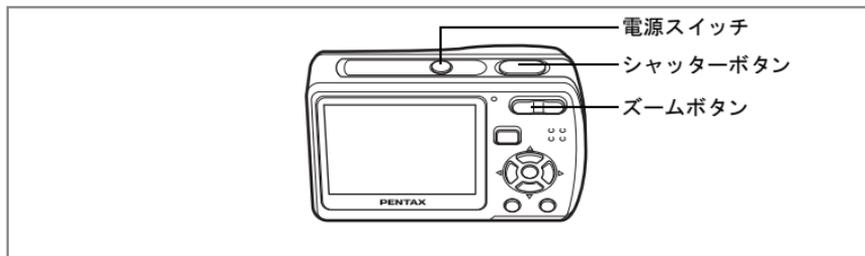
同様に「月」「日」を設定します。
続いて時刻欄を設定します。
手順4で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

9　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

「日時設定」の途中でMENUボタンを押すと、日時設定がキャンセルされます。そのまま撮影を始めることができますが、次回カメラの電源を入れたときに、また「日時設定」画面が表示されます。

- 手順9で**OK**ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて**OK**ボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。
- ここで設定した「言語」と「日時」は、後から変更できます。「言語」の変更についてはp.124、「日時」の変更は、p.122をご覧ください。
- 初期設定で言語を選ぶと、ビデオ出力方式が自動的に次のように設定されます。お使いの地域の方式と異なるときは、「ビデオ出力方式を選択する」（p.127）を参照して、変更してください。

言語	ビデオ出力
英語（English）	NTSC
フランス語（Français）	PAL
ドイツ語（Deutsch）	PAL
スペイン語（Español）	PAL
ポルトガル語（Português）	PAL
イタリア語（Italiano）	PAL
オランダ語（Nederlands）	PAL
デンマーク語（Dansk）	PAL
スウェーデン語（Svenska）	PAL
フィンランド語（Suomi）	PAL
ポーランド語（Polski）	PAL
チェコ語（Čeština）	PAL
ハンガリー語（Magyar）	PAL
トルコ語（Türkçe）	PAL
ロシア語（Русский）	PAL
タイ語（ไทย）	PAL
韓国語（한국어）	NTSC
中国語・繁体字（中文繁體）	PAL
中国語・簡体字（中文简体）	PAL
日本語（日本語）	NTSC

静止画を撮影する

最も標準的な撮影方法を説明します。ストロボは、明るさに応じて自動的に発光します。

1 電源スイッチを押す

電源がオンになり、静止画が撮影できる状態になります。本書ではこの状態を、📷モード（撮影モード）と呼びます。

2 液晶モニターで写す範囲を決める

カメラはフォーカスフレーム内でピント合わせをします。
ズームボタンを押すと、被写体の写る範囲が変わります。

♠ ：被写体を拡大して写す

♠♠♠：被写体を広い範囲で写す

3 シャッターボタンを半押しする

フォーカスフレームの色で、ピントが合っているか確認します。
ピントが合うと、緑色に変わります。ピントが合っていないと赤色に変わります。

フォーカスフレーム

メモ 「📷撮影」メニューのAFモードで C（コンティニュアス）が選ばれている場合(p.68)は、ピントが合うと緑色に変わり、ピントが合っていないと色は変わりません。

4 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

撮影した画像は液晶モニターに2秒間表示（クイックビュー）された後、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存されます。（p.22）

- 初期設定では、撮影モードは AUTO PICT（オートピクチャーモード）に設定されています。（p.50）電源をオンにすると、AUTO PICT モードで静止画を撮影できる状態になります。
- グリーンボタンを押すと、すべての撮影条件をカメラが自動設定する（グリーンモード）に切り替わります。（p.48）

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは、二段階に分けて静かに押します。
こうすると、手ぶれを防ぎ、ピントをしっかり合わせて撮影できます。

基本の押しかた

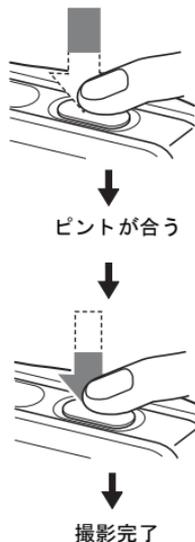
1　シャッターボタンを半押しする

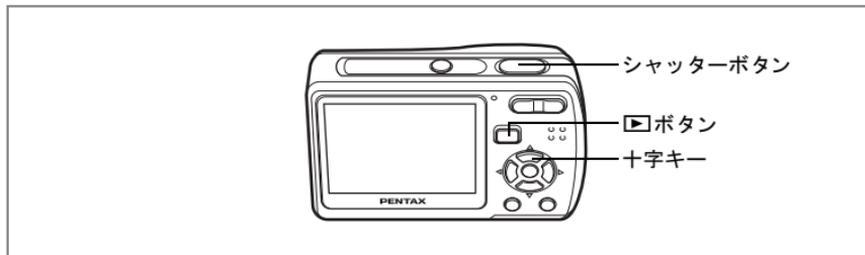
シャッターボタンを軽く押し、途中で止まる部分で指を止めます。（半押し）

2　液晶モニターのフォーカスフレームが緑色になるのを、確認する

半押しのまま、緑色に変わるのを待ちます。ピントが合う位置が固定されます。

3　シャッターボタンを全押しする

半押しの状態から、シャッターがきれるまで静かに押し下げます。

シャッターボタンを一気に押し込んで撮影することもできます。この場合、画面全体にピントがあった写真になります。一瞬のシャッターチャンスを逃したくないときに、便利です。

静止画を再生する

画像を再生する

1　撮影後に▶ボタンを押す

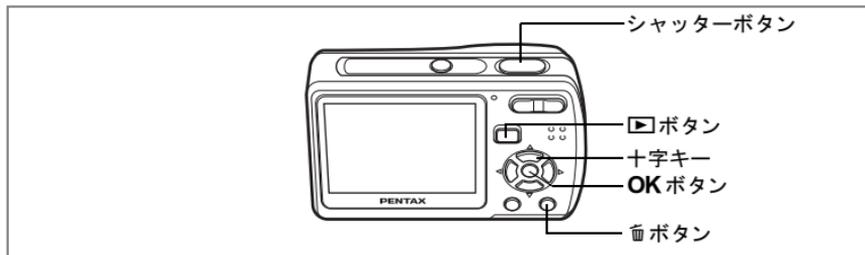
撮影した画像が液晶モニターに表示されます。本書ではこの状態を、▶モード（再生モード）と呼びます。
もう一度▶ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、📷モード（撮影モード）に切り替わります。

前後の画像を再生する

1　撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

前後の画像が表示されます。

画像を回転して表示する

縦方向で撮った写真を回転して、見やすく表示することができます。

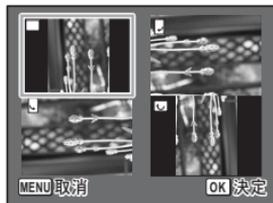
1　撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◄►）で ◇（画像回転）を選び、OK ボタンを押す

回転方向を4種類（0度、右90度、左90度、180度）から選ぶ画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼◄►）で回転方向を選び、OK ボタンを押す

回転した状態で画像が表示されます。

パノラマ写真、16連写で撮影した画像、動画は回転表示できません。

プロテクトされた画像は、回転表示はできますが、回転された状態は記録されません。

表示した画像を消去するには

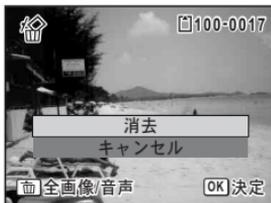
1　画像再生中に、🗑ボタンを押す

消去画面が表示されます。

2　十字キー（▲）を押して「消去」を選び、OKボタンを押す

再生中の画像が消去されます。

3　▶ボタンを、もう一度押す

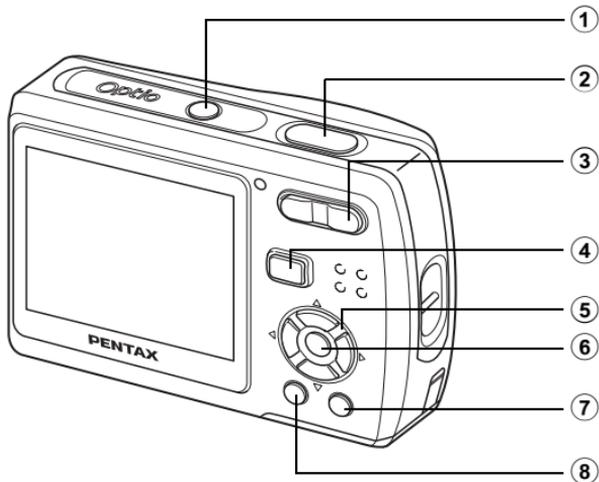
撮影できる状態になります。
シャッターボタンを半押ししても、撮影できる状態に戻ります。

撮影モードと再生モードを切り替えるには

📷モード（撮影モード）から▶モード（再生モード）へ

▶ボタンを押すと、切り替わります。

▶モード（再生モード）から📷モード（撮影モード）へ

▶ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると切り替わります。

ボタンのはたらき

撮影モードのとき

① **電源スイッチ**
電源をオフにします。（p.26）

② **シャッターボタン**
📷 モードで半押しすると、ピント合わせを行います。（フォーカスモードが、▲、PFのときを除く）（p.66）
全押しすると、静止画を撮影します。（p.31）
🎥 モードでは、動画の撮影を開始、終了します。（p.80）
🎤 モードでは、音声の録音を開始、終了します。（p.116）

③ **ズーム/♠♠♠/♠ボタン**
撮影する範囲を変えます。（p.65）

④ **▶ボタン**
▶モードに切り替えます。（p.35）

⑤ 十字キー

（▲）　：ドライブモードを切り替えます。（p.74、p.75）
（▼）　：撮影モードパレットを表示します。（p.45）
（◀）　：ストロボモードを切り替えます。（p.69）
（▶）　：フォーカスモードを切り替えます。（p.66）

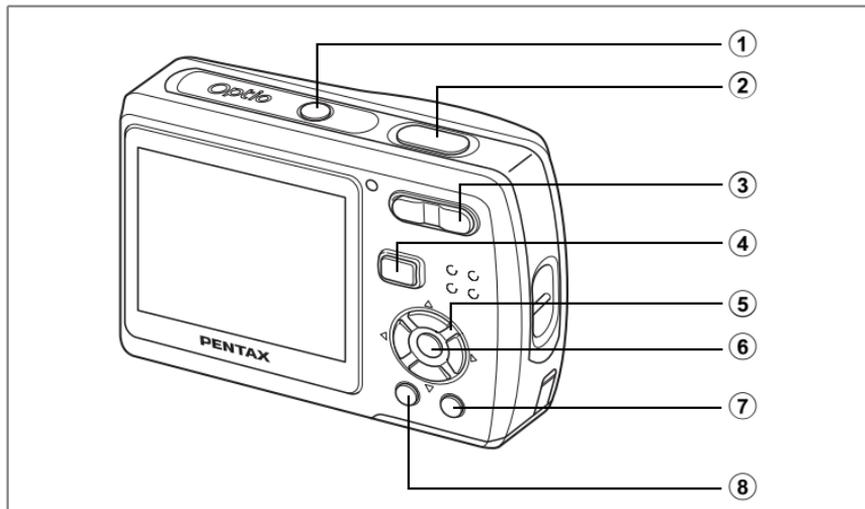
⑥ OK/DISPLAYボタン

液晶モニターに表示される情報を切り替えます。（p.73）

⑦ グリーンボタン

モードに移行します。（p.48）

⑧ MENUボタン

「撮影」メニューを表示します。（p.43）

再生モードのとき

① **電源スイッチ**
電源をオフにします。(p.26)

② **シャッターボタン**
半押しすると📷モードに切り替わります。(p.33)

③ **ズーム/▦/🔍ボタン**
1画面表示時に▦を押すと9画面表示になります。🔍を押すと、前の表示に戻ります。(p.85)
1画面表示時に🔍を押すと画像が拡大表示されます。▦を押すと前の表示に戻ります。(p.87)
9画面表示時に▦を押すと、フォルダ表示またはカレンダー表示になります。(p.86)
フォルダ表示時に🔍を押すと、選択フォルダの9画面表示になります。(p.86)
カレンダー表示時に🔍押すと、選択日付の9画面表示になります。(p.86)
動画・音声再生中に音量調節ができます。(p.90、p.118)

④ **▶ボタン**
📷モードに切り替えます。(p.35)

⑤ 十字キー

（▲）　　　：動画・音声を再生／一時停止します。（p.90、p.118）
（▼）　　　：再生モードパレットに移行します。（p.47）
　　　　　　　再生中の動画・音声を停止します。（p.90、p.118）
（◀ ▶）　　：1画面表示時は、前後の画像・音声を表示します。（p.33）
　　　　　　　動画表示時は、コマ送り、コマ戻し、逆方向再生をします。（p.90）
　　　　　　　音声再生時は、早送り、巻き戻し、インデックス位置への移動をします。（p.118）
（▲▼◀▶）：拡大表示時は、表示範囲を移動します。（p.87）
　　　　　　　9画面表示時は画像、フォルダ表示時はフォルダ、カレンダー表示時は日付を選択します。（p.85、p.86）
　　　　　　　フレーム合成時は、画像の位置を調整します。（p.105）

⑥ OK/DISPLAYボタン

液晶モニターに表示される情報を切り替えます。（p.84）
拡大表示、9画面表示時は、1画面表示に戻ります。（p.85、p.87）
フォルダ表示時は、9画面表示に変わります。（p.86）
カレンダー表示時は、1画面表示に変わります。（p.86）

⑦ グリーン/🗑ボタン

1画面表示時は、消去画面に移行します。（p.92）
9画面表示時は、選択消去画面に移行します。（p.93）
フォルダ表示時は、カレンダー表示画面に移行します。（p.86）
カレンダー表示時は、フォルダ表示画面に移行します。（p.86）
16連写で撮影した画像の動画再生時は、一時停止中に押すと1コマ保存します。(p.90)

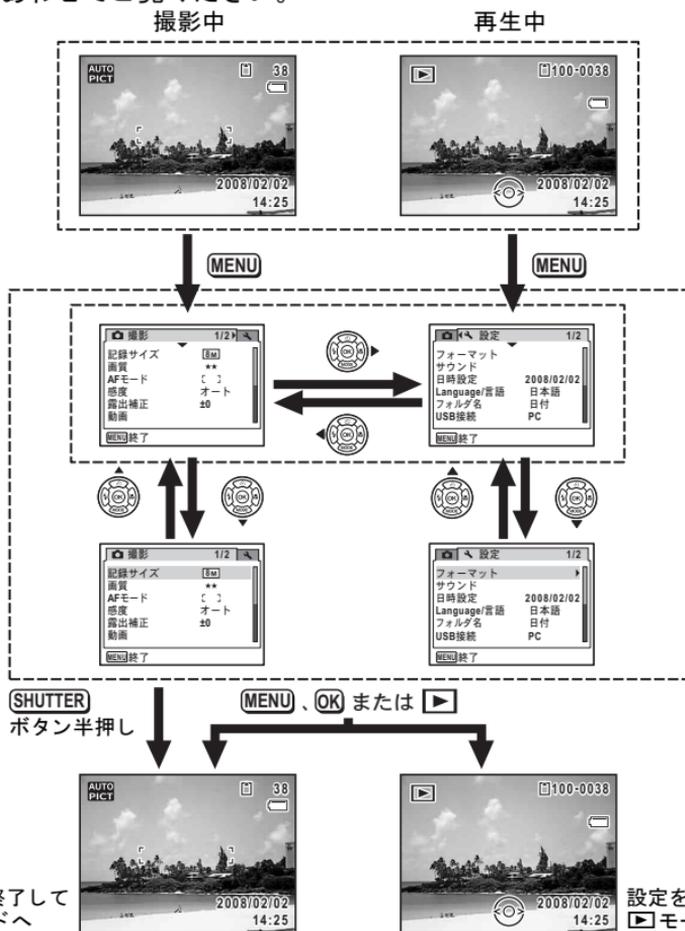
⑧ MENUボタン

1画面表示時は、「🔧設定」メニューを表示します。（p.44）
再生モードパレット表示時は、1画面表示に戻ります。（p.47）
拡大表示、9画面表示時は、1画面表示に戻ります。（p.85、p.87）
フォルダ表示時は、選択フォルダの9画面表示に変わります。（p.86）
カレンダー表示時は、9画面表示に変わります。（p.86）

メニューを使う

MENUボタンを押すと、液晶モニターにメニューが表示されます。
□モードのときは「□撮影」メニューが表示され、▶モードのときは「🔧設定」メニューが表示されます。

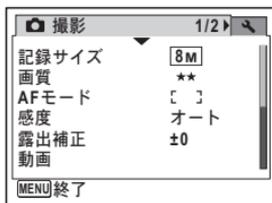
メニューの選びかた

「□撮影」メニューと「🔧設定」メニューは、次のように操作します。メニュー操作中は、画面の下部に「ボタン操作ガイド」も表示されるので、あわせてご覧ください。

例）「撮影」メニューの「画質」の設定をする

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▼）を押す

選択枠が「記録サイズ」に移動します。

3 十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

4 十字キー（▶）を押す

選べる内容がポップアップで表示されます。

ポップアップには、現在のカメラの条件で選べる設定が表示されます。

5 十字キー（▲▼）で設定を切り替える

十字キー（▲▼）を押すたびに、画質が切り替わります。

設定の保存方法、変更の取り消し方法については、次のページをご覧ください。

設定を保存して撮影をしたいとき

6　シャッターボタンを半押しする

設定が保存され、撮影できる状態になります。
全押しすると、写真が撮影されます。

設定を保存して再生をしたいとき

6　▶ボタンを押す

設定が保存され、再生できる状態になります。

設定を保存して続いてメニュー操作をしたいとき

6　OKボタンまたは十字キー（◀）を押す

設定が保存され、手順3に戻ります。

変更を取り消してメニュー操作を続けたいとき

6　MENUボタンを押す

変更が取り消され、手順3に戻ります。

MENUボタンの機能は、画面によって異なります。画面下部に表示される「ボタン操作ガイド」を参照してください。

MENU 終了 ：メニュー操作を終了し、元の画面に戻ります。
MENU ↩ ：現在の設定のまま、手順3の画面に戻ります。
MENU 取消 ：現在の選択を保存しないでメニュー操作を終了し、手順3の画面に戻ります。

3
操作の基本

メニュー一覧

メニュー画面で設定できる項目とその内容を示します。カメラの電源をオフにしたとき設定を維持するかどうか、リセットしたときに初期設定に戻すかどうかについては、付録の「初期設定一覧」（p.134）をご覧ください。

「◘撮影」メニュー

項目		内容	参照
記録サイズ		静止画像の記録サイズを選びます。	p.62
画質		静止画像の画質を選びます。	p.64
AF モード		オートフォーカスの対象になる範囲を変更します。	p.68
感度		ISO感度を設定します。	p.71
露出補正		撮影する画像全体の明るさを調整します。	p.72
動画	記録サイズ	動画の記録サイズを選びます。	p.82
	フレームレート	フレームレート（1秒間に撮る画面数）を設定します。	p.83
モード メモリ		電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリーするか、初期設定に戻すかを設定します。	p.78
日付写し込み		撮影した画像に撮影日を写し込むかを設定します。	p.77

「🔧設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットします。	p.119
サウンド	音量、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を設定します。	p.120
日時設定	日付、時刻、それぞれの表示スタイルを設定します。	p.122
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を設定します。	p.124
フォルダ名	画像や音声を保存するフォルダの命名方法を設定します。	p.125
USB接続	USB／AVケーブルの接続先（パソコンまたはプリンター）を設定します。	p.126
ビデオ出力	AV機器へのビデオ出力形式を設定します。	p.127
LCDの明るさ	液晶モニターの明るさを設定します。	p.128
エコモード	節電モードになるまでの時間を設定します。	p.129
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。	p.130
ガイド表示	撮影モードパレットと再生モードパレットでアイコンを選択したときに、説明を表示するかどうかを設定します。	p.131
リセット	日時、言語、ビデオ出力以外の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。	p.132

モードパレットを使う

十字キー（▼）を押すと、液晶モニターにモードパレットが表示されます。モードパレットには「撮影モードパレット」と「再生モードパレット」があります。
アイコンを選ぶだけで、シーンに合った撮影モードに切り替えたり、撮った画像の編集ができます。

モードの選びかた

モードパレット操作中は、「ボタン操作ガイド」が画面の下部に表示されます。あわせてご覧ください。

1　十字キー（▼）を押す

📷モードでは「撮影モードパレット」、▶モードでは「再生モードパレット」が表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で使用したいモードを選ぶ

3　OKボタンを押す

各モードの画面が表示されます。

モード一覧

撮影モードパレット

項目		内容	参照
AUTO PICT	オートピクチャーモード	適切なシーンを自動的に判断して撮影します。	p.50
P	プログラムモード	一般的な撮影に適しています。さまざまな機能を設定して撮影する事もできます。	p.51
🌙	夜景モード	夜景撮影に最適です。三脚等で固定して撮影して下さい。人物も入る場合はストロボを発光させて下さい。	p.55
🎥	動画モード	動画を撮影するときに設定します。音声も同時に記録されます。	p.80
🎙	ボイスレコーディングモード	音声を記録するときに設定します。マイクを手で塞がないように注意して下さい。	p.116

項目		内容	参照
	風景モード	風景の撮影に適しています。広い範囲にピントが合うようになっています。	–
	花モード	花をきれいに撮影するのに適しています。花の輪郭を柔らかめに表現します。	
	ポートレートモード	人物を撮影するのに適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。	p.52
	サーフ＆スノーモード	砂浜や雪山など、背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。	–
	スポーツモード	動きの速いものを撮影するのに最適です。	
	Digital SRモード	ぶれを軽減して撮影するために、より高い感度を使用します。	p.56
	キッズモード	動きの多い子供を撮影するのに適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。	p.52
	ペットモード	動き回るペットを撮影するのに最適です。ペットの毛色に合わせた撮影をすることもできます。	p.54
	パノラマモード	撮影した画像をカメラ内でつなぎ合わせてパノラマ写真を作成します。撮影時の記録サイズは、2Mサイズに固定されます。	p.59
	フレーム合成モード	フレーム付きの画像を撮影します。記録サイズは、3Mサイズに固定されます。	p.57

アイコンを選んだ状態で約2秒たつと、そのモードの説明が表示されます。表示しないよう設定するには、p.131をご覧ください。

顔認識AF&AE

AUTO PICT（オートピクチャーモード）、P（プログラムモード）、（ポートレートモード）、（キッズモード）では、「顔認識AF&AE」機能が働きます。
これは、カメラが自動的に人物の顔の位置を見つけだし、ピント合わせと露出補正をして撮影する機能です。人物の顔が複数ある場合も、カメラがメインとなる人物の顔を見つけだし、自動で最適に調整して撮影します。人物の顔をくっきりときれいに撮ることができます。

注意

- P モード、 モード、モードで人物の顔が認識されない場合は、「撮影」メニューの「AFモード」で設定しているAFモードでピントを合わせます。
- AUTO PICTモードで人物の顔が認識されない場合は、通常のAFモード（マルチ）でピントを合わせます。なお撮影メニューでの他のAFモードへの変更はできません。
- 人物の顔が正面を向いていなかったり、サングラスなどで顔の一部がさえぎられていると、顔認識AF&AE機能が働かないことがあります。

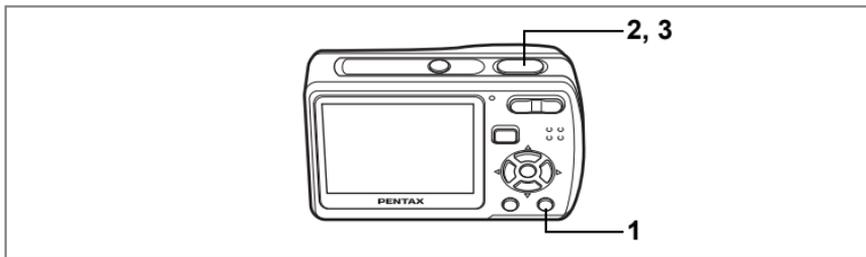
再生モードパレット

項目		内容	参照
	スライドショウ	撮影した画像を連続で再生します。切替りの画面効果や効果音の設定もできます。	p.88
	リサイズ	撮影した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを小さくします。	p.98
	トリミング	画像の不要な部分を削除して好みの大きさに変更します。新規保存されます。	p.100
	画像/音声コピー	内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声のファイルをコピーします。	p.101
	画像回転	撮影した画像を回転させます。縦位置写真をTV等で見る際に便利です。	p.34
	デジタルフィルタ	撮影した画像に色フィルターをかけて仕上げます。	p.103
	明るさフィルタ	撮影した画像全体の明るさを変更します。	p.104
	フレーム合成	撮影した画像にフレームを付けて保存します。上書きまたは新規保存が選べます。	p.105
	赤目補正	赤目になった画像を修正します。元画像の状態によっては正しく補正できない場合があります。	p.107
	プロテクト	消したくない画像および音声を保護します。フォーマットを行った場合は、消去されます。	p.96
	DPOF	撮影した画像の印刷設定をします。お店でプリントする際に便利です。	p.108
	起動画面設定	撮影した画像をカメラの起動時に表示するよう設定します。	p.133

アイコンを選んだ状態で約2秒たつと、そのモードの説明が表示されます。表示しないよう設定するには、p.131をご覧ください。

撮影モードを選んで撮る

2, 3

1

で使えます

簡単撮影モードで気軽に（グリーンモード）

グリーンボタンを押すだけで、いつでも手軽に撮影が楽しめます。

1　モードでグリーンボタンを押す

（グリーンモード）に切り替わります。もう1回グリーンボタンを押すと、モードに入る前の撮影モードに戻ります。

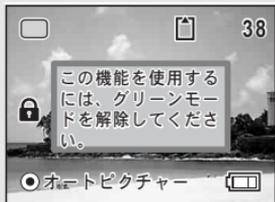
撮影可能枚数

2　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

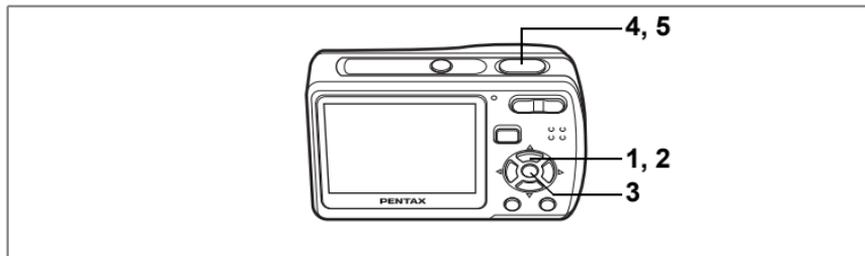
3　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- モードでは、**OK**/**DISPLAY** ボタンを押して情報表示を切り替えることはできません。
- モードでは、「撮影」メニューや撮影モードパレットを使用できません。表示させようとすると（キーロック表示）とメッセージが表示されます。
- モードから モードに移行した場合、**MENU** ボタンを押しても、「設定」メニューを表示できません。表示させようとすると（キーロック表示）とメッセージが表示されます。

- 撮影できる枚数が残り10枚以下になると、撮影可能枚数が赤で表示されます。
- 撮影モードを▢モードにしたまま電源をオフにすると、次回も▢モードで起動します。

※ ▢（グリーンモード）での設定値は、以下のとおりです。

ストロボモード	⚡A（オート）※1
ドライブモード	□（標準）※2
フォーカスモード	AF（標準）※3
情報表示	標準
記録サイズ	8M
画質	★★（ファイン）
AFモード	[　]（マルチ）
感度	オート
露出補正	±0.0
日付写し込み	□（オフ）

※1 ⊛（発光禁止）に設定可能
※2 ⏲（10秒セルフタイマー）、⏲2s（2秒セルフタイマー）に設定可能（▢モード以外の撮影モードで設定した方が使用可能）
※3 ✿（マクロ）、PF（パンフォーカス）に設定可能

AUTO PICT で使えます

カメラに撮影モード選びをまかせて（オートピクチャーモード）

AUTO PICT（オートピクチャーモード）では、シャッターを押すだけで、カメラが☺（標準モード）、夜景アイコン（夜景モード）、風景アイコン（風景モード）、ポートレートアイコン（ポートレートモード）の中から、撮りたいシーンに最も合った撮影モードを選びます。

1　カメラアイコンモードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、AUTO PICT（オートピクチャー）を選ぶ

3　OKボタンを押す

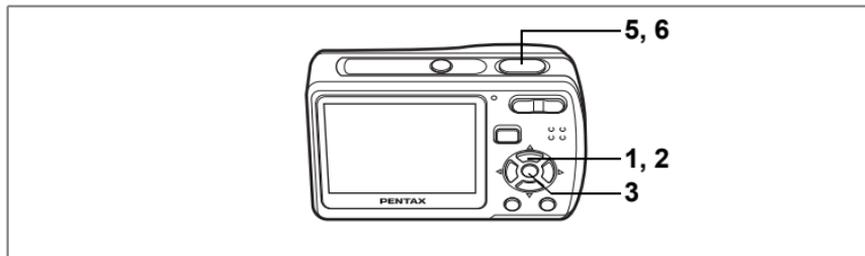
撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。選択された撮影モードが液晶モニター左上に表示されます。

5　シャッターボタンを全押しする

AUTO PICTモードでは、連続撮影と16連写はできません。

- AUTO PICTモードでは、露出補正は±0.0に固定されます。（p.72）
- AUTO PICTモードを選んでポートレートアイコンモードになると、顔認識AF&AE機能が働きます。（p.46）
- 初期設定では、撮影モードはAUTO PICTモードに設定されています。

Ⓟで使えます

カメラに設定をまかせて（プログラムモード）

Ⓟ（プログラムモード）では、シャッター速度と絞り値をカメラが自動的に設定して撮影します。ストロボの発光方式や記録サイズなどその他の機能は自由に設定できます。

1　◘モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、Ⓟ（プログラム）を選ぶ

3　OKボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

4　必要に応じて使用する機能を設定する

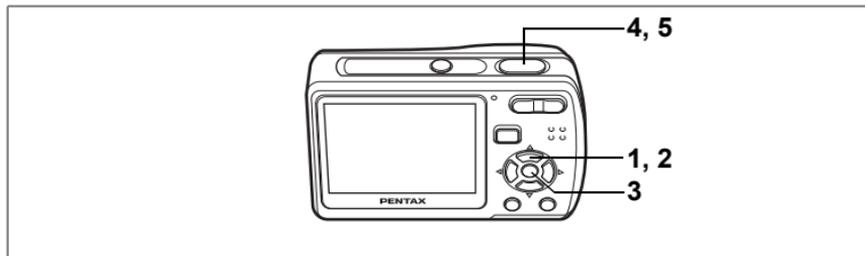
5　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

6　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

Ⓟモードで、カメラが被写体を人物だと認識した場合は、顔認識AF&AE機能が働きます。（p.46）

4
撮影する

で使えます

人物を撮影する（ポートレートモード／キッズモード）

（ポートレートモード）と（キッズモード）では、顔認識AF&AE機能が働きます。カメラが人物の顔を見つけだし、自動でピントと露出を最適に調整して撮影します。人物の顔が複数ある場合も、カメラがメインとなる人物の顔を見つけだし、自動で最適に調整して撮影します。人物の顔をくっきりと明るく、きれいに撮ることができます。

4 撮影する

1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、（ポートレート）、または（キッズ）を選ぶ

ここではを選んだ場合で説明します。

3 OKボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。
人物の顔を認識すると、液晶モニター内の顔の位置に黄色のかぎカッコの付いたフォーカスフレームが表示されます。
人物が2人以上いる場合は、まずメインとなる顔を認識し、その顔の位置に黄色のかぎカッコの付いたフォーカスフレームが、それ以外の顔の位置には白色のフォーカスフレームが表示されます。
人物が動くとフォーカスフレームが顔の位置を追尾し、フレームの大きさ、位置が変化します。

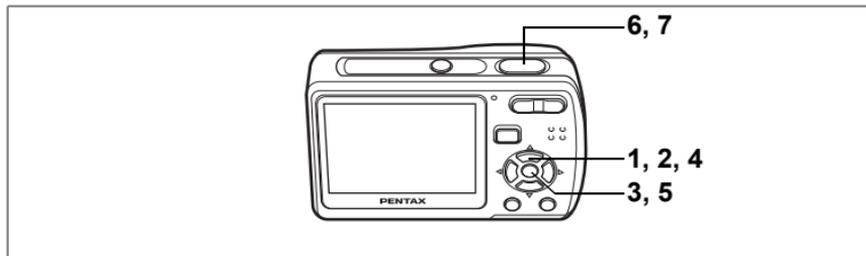
4 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。人物が2人以上いる場合は、手順3で表示されたかぎカッコの付いたフォーカスフレーム内にピントが合うと、緑色に変わります。

5 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

人物の顔が正面を向いていなかったり、サングラスなどで顔の一部がさえぎられていると、顔認識機能が働かないことがあります。

- カメラが人物の顔を認識しない場合は、「撮影」メニューの「AFモード」で設定しているAFモードでピントを合わせます。
- 人物が2人以上いる場合は、カメラは液晶モニターの中央に近く、他の人物の顔と比べて大きく写っている顔をメインとなる顔として認識します。

(ペットモードアイコン)で使えます

ペットを撮影する（ペットモード）

（ペットモード）では、ペットの毛色によって白色、黒色、中間色のアイコンを選び、毛色を活かして撮ることができます。

1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で（ペット）を選ぶ

3 OKボタンを押す

ペットモードの選択画面が表示されます。現在選択しているペットモードのままで撮影したい場合は、**MENU**ボタンを押し手順6へ進んでください。

4 十字キー（▲▼）でを選ぶ

ペットアイコンには犬柄と猫柄の2タイプがあります。
（犬アイコンと猫アイコンは絵柄が違うだけで、撮影結果に与える効果は同じです。お好みで使い分けてください。）

を押すと、ここで選んだ設定を保存してモード（再生モード）に移行します。

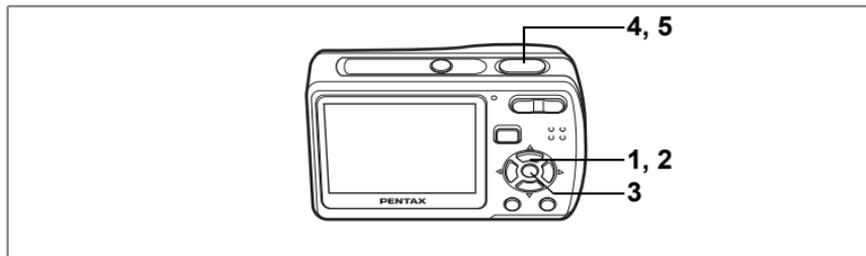
5 OKボタンを押す

ペットモードが選択され、撮影できる状態になります。

6 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

で使えます

暗いシーンを撮影する（夜景モード）

（夜景モード）では、夜景など暗いシーンを撮影するのに適切な設定にセットされます。

1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（夜景）を選ぶ

3　OKボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

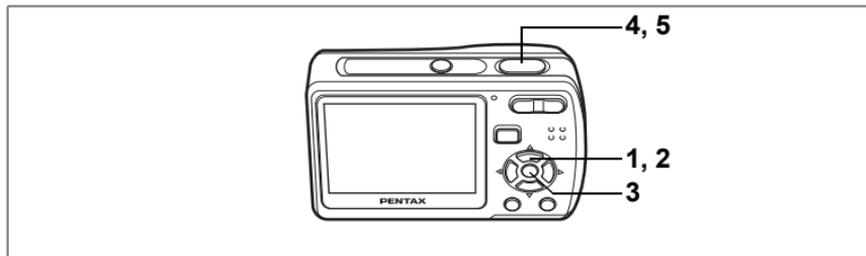
4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

モードでは、連続撮影と16連写はできません。

暗いシーンの撮影ではシャッター速度が遅くなるので、手ぶれしやすくなります。手ぶれを防ぐため、三脚とセルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。（p.74）

（　）で使えます

手ぶれや被写体ぶれをおさえて撮影する（Digital SRモード）

（Digital SRモード）では、他のモードより高いISO感度に調整されるので、ぶれをおさえて撮影することができます。手ぶれや被写体ぶれが起きやすい撮影シーンでお使いください。

1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（Digital SR）を選ぶ

3　OKボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

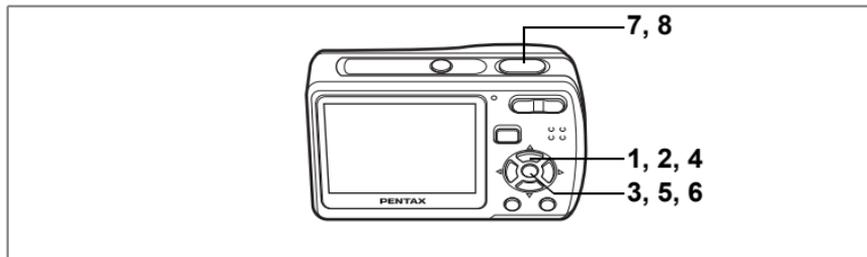
4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

ISO感度は、ISO100～1600の間で自動調整されます。（p.71）シャッター速度と絞り値も、自動設定されます。

[フレーム合成アイコン]で使えます

フレームつきの写真を撮影する（フレーム合成モード）

[フレーム合成アイコン]（フレーム合成）モードでは、カメラに保存されているフレームからお好きなものを選び、液晶モニターに表示しながら撮影することができます。

1　[撮影アイコン]モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で[フレーム合成アイコン]（フレーム合成）を選ぶ

3　OKボタンを押す

選べるフレームが9画面表示されます。

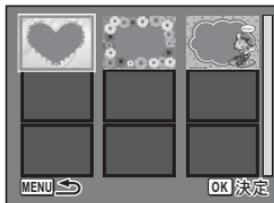
4　十字キー（▲▼◀▶）で使用するフレームを選ぶ

5　OKボタンを押す

選んだフレームが1画面表示されます。
フレームは次の方法で選びなおすことができます。

十字キー（◀▶）：別のフレームに切り替える
MENUボタンまたはズームボタン（[9画面表示アイコン]）
：選べるフレームの9画面表示に戻る

6　OKボタンを押す

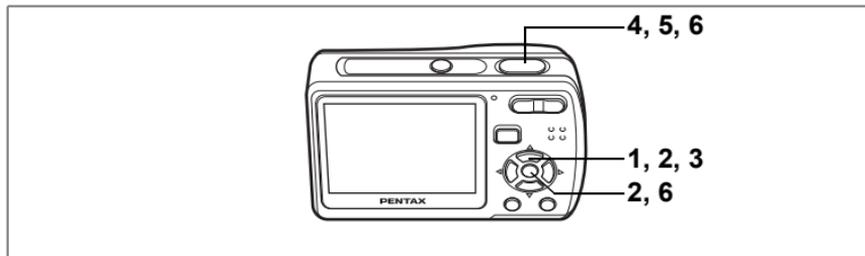
フレーム付きの撮影画面が表示されます。

7　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

8　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

[♥]モードでは、連続撮影と16連写はできません。

フレーム撮影の記録サイズは[3M]に、画質は★★に固定されます。

⊡⊡⊡ で使えます

パノラマ写真を撮影する（パノラマモード）

⊡⊡⊡ (パノラマ)モードでは、撮影した2枚または3枚の写真をつなぎ合わせて、横長のパノラマ写真を作成できます。

1 ◘モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で ⊡⊡⊡(パノラマ) モードを選び、OKボタンを押す。

撮影方向を指定する画面が表示されます。

3 十字キー（◀▶）でつなげる方向を選ぶ

十字キー（▶）: 画像を右につなぐ
十字キー（◀）: 画像を左につなぐ
1枚目を撮影できる状態になります。ここでは、（▶）を選んだ場合で説明します。

4 1枚目の画像を撮影する

シャッターボタンを全押しすると1枚目の画像が撮影され、撮影した画像が液晶モニターにクイックビュー表示されたあと、2枚目を撮影できる状態になります。
2枚目の撮影画像では、1枚目の画像の右端1/4が、液晶モニターの左端に半透明に表示されています。

画面左上の ⊡⊡⊡ は、次に何枚目を撮影するかを表します。

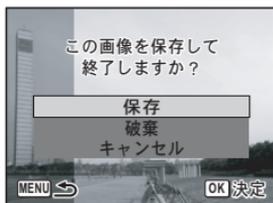
5 カメラを右へ移動し2枚目の画像を撮影する

半透明の画像と実際の画像が重なる位置にカメラを移動し、シャッターボタンを全押しすると2枚目の画像が撮影され、2枚目の画像がクイックビュー表示されたあと、3枚目を撮影できる状態になります。
3枚目の画像も手順4、5を繰り返して撮影します。3枚目の撮影が終了すると、「処理中です」のメッセージが点滅したあと、完成したパノラマ写真がクイックビュー表示され、1枚目の画像を撮影する画面に戻ります。
2枚の写真でパノラマ写真を作るときは、手順6へ進んでください。手順7で「保存」を選ぶとパノラマ写真が完成します。

パノラマ撮影を途中で終えたいとき

6 OKボタンを押す

「この画像を保存して終了しますか?」というメッセージの画面が表示されます。

7 十字キー（▲▼）で「保存」、「破棄」、「キャンセル」のいずれかを選び、OKボタンを押す

「保存」　　：1枚目の画像を撮影後に選択した時は、撮影済みの画像を保存して、1枚目を撮影する画面に戻ります。
2枚目の画像を撮影後に選択した時は、「処理中です」のメッセージが点滅したあと、2枚の画像を合成してできあがったパノラマ写真がクイックビュー表示され、1枚目を撮影する画面に戻ります。
「破棄」　　：それまでの撮影結果をすべて取り消して、1枚目を撮影する画面に戻ります。
「キャンセル」：作業を中止して、直前の撮影画面に戻ります。

□□□ モードでは、ストロボは発光しません。

- フォーカス、露出、ドライブモード、ズーム位置の設定は、1枚目の値のまま、2枚目と3枚目が撮影されます。
- 1枚目または2枚目は撮りなおすことができます。クイックビュー表示中に i ボタン、十字キー(▲)、**OK** ボタンの順に押して画像を消去してから、撮りなおしてください。

で使えます

記録サイズを選ぶ

用途に合わせて、静止画の記録サイズを選びます。
記録サイズが大きいほど、きめ細かい画像になりますが、画像データのサイズも増えます。データサイズは、選んだ画質によっても異なります。(p.64)

記録サイズ

記録サイズ	用途	
8M 3264×2448	↑	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集などの加工用など
5M 2592×1944		
4M 2304×1728	鮮明、きれい	
3M 2048×1536		
2M 1600×1200		はがきサイズプリントなど
1024 1024×768		
640 640×480		ホームページ掲載、電子メール添付など

1　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

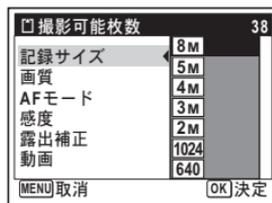
2　十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で記録サイズを切り替える

記録サイズを切り替えると、その記録サイズでの撮影可能枚数が画面に表示されます。

撮影可能枚数 38
記録サイズ
画質
AFモード
感度
露出補正
動画
8M
5M
4M
3M
2M
1024
640
MENU 取消
OK 決定

5 OKボタンを押す

記録サイズの設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

- 撮影モードが のときは、2M に固定されます。
- 撮影モードが のときは、3M に固定されます。
- 撮影モードが のときは、撮影メニューの「動画」で設定した「記録サイズ」で撮影されます。（p.82）

撮影枚数と時間（静止画）☞p.143

で使えます

画質を選ぶ

用途に合わせて、静止画の画質（圧縮率）を選びます。
★の数が多いほど圧縮率は低くなり、画像はきれいになりますが、画像データのサイズも増えます。データサイズは選んだ記録サイズによっても異なります。(p.62)

画質

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ掲載用に適しています。

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「画質」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

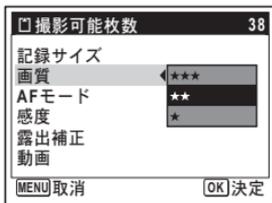
4 十字キー（▲▼）で画質を切り替える

画質を切り替えると、その画質での撮影可能枚数が画面に表示されます。

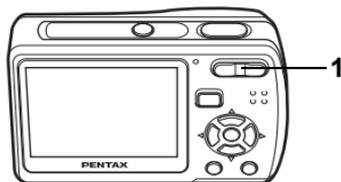
5 OKボタンを押す

画質の設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

撮影モードがのときは、画質は★★に固定されます。

撮影枚数と時間（静止画）☞p.143

で使えます

構図を決める（ズーム）

ズーム機能を使って、写る範囲を変えて撮影できます。

1 モードでズームボタンを押す

望遠：被写体を拡大して写す
広角：被写体を広い範囲で写す
ズームバーで現在の拡大状況が確認できます。

ズームバー

を押す

デジタルズームと光学ズームとを合わせて、最大約12倍相当まで拡大して撮影できます。

光学ズーム領域　デジタルズーム領域

- 高倍率の撮影では、手ぶれを防止するため三脚などのご利用をおすすめします。
- デジタルズーム領域で撮影すると、光学ズーム領域で撮影したときよりも画像の細密さが低下します。
- フォーカスモードで（マクロ）を選ぶと、光学ズームは広角側に固定されます（ただしデジタルズームでの構図の変更は可能）。

で使えます

ピントの合わせかたを選ぶ（フォーカスモード）

撮りたいものとカメラの距離に合わせて、フォーカスモードを選びます。

フォーカスモード

AF	標準	撮りたいものとカメラの距離が、約40cm以上のときに選びます。シャッターボタン半押し時に、フォーカスフレーム内にあるものに自動でピントが合います。
🌷	マクロ	撮りたいものとカメラの距離が、約15cm～約50cmのときに選びます。シャッターボタン半押し時に、フォーカスフレーム内にあるものに自動でピントが合います
▲	無限遠	遠くのものを撮るときに選びます。 ストロボは⊘（発光禁止）になります。
PF	パンフォーカス	広い範囲にピントが合います。 他の人に撮ってもらうときや、車窓から風景を撮るときなどに選びます。

1 モードで十字キー（▶）を押す

押すたびにフォーカスモードが切り替わります。（十字キー（▲▼）を押して切り替えることもできます。）

2 OKボタンを押す

フォーカスモードが保存され、撮影できる状態になります。

モードでAFまたは🌷を選んだ場合、撮影中にピント調整できません。ピントを合わせてから撮影を始めてください。

4 撮影する

- ❀（マクロ）を選ぶと、光学ズームは広角側に固定されます（ただしデジタルズームでの構図の変更は可能）。
- **AF**（標準）のときに、ズームが光学ズームの広角側に設定されていると、オートマクロ機能が働きます。被写体までの距離が約40cm以下の場合には、マクロモードの領域にもピントが合うように、自動で切り替わります。
- ▢モードでは、**AF**と❀、**PF**のみ選択できます。

フォーカスモードを保存する ☞p.78

フォーカスロック

自動でピントが合いにくいときは、「フォーカスロック」をして撮ることもできます。

次のようなものには、ピントが合いにくいことがあります。
- 極端にコントラストが低いもの（青空や白壁）
- 光が反射しにくいもの（暗い場所や真っ黒なもの）
- 強い反射光、極端な逆光
- 細かい模様
- 高速で動いているもの
- カメラから遠いものと近いものが、同時に画面に存在しているとき

1 ピントを合わせたいものと同じ距離にある、他の被写体を探す

2 その被写体にピントを合わせる

フォーカスフレーム内に、その被写体が入るようにします。

3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、フォーカスフレームが緑色に変わります。

4 半押しのままカメラの向きを変え、撮りたい構図にする

構図を変えても、手順3の位置にピントは固定されたまま（フォーカスロック）です。

5 シャッターボタンを全押しする

で使えます

自動でピントが合う範囲を選ぶ（AFモード）

自動でピントが合う範囲を変えることができます。

AFモード

〔 〕	マルチ	標準的な範囲で、自動ピント合わせをします。
〔〕	スポット	狭い範囲で、自動ピント合わせをします。
〔〕C	コンティニュアス	AFエリア内の被写体にピントを合わせ続けます。

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「AFモード」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）でAFモードを切り替える

5 OKボタンを押す

AFモードの設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

注意

モードでは、「コンティニュアス」は選べません。

, モードでは、AFモードは「マルチ」に固定されます。

4 撮影する

で使えます

ストロボを使いこなす（ストロボモード）

ストロボモード

	オート	暗いときや逆光のときにストロボを発光します。
	発光禁止	暗いときや逆光のときでも発光しません。ストロボの使えない場所での撮影にご利用ください。
	強制発光	明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。
	オート＋赤目	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
	強制＋赤目	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。常にストロボを発光します。

- 撮影モードが 、、 または に設定してあるときは、顔認識AF&AE機能が働きます。このとき、ストロボモードを（オート）に設定していてストロボ発光する場合、または（強制発光）に設定している場合は、シャッターボタンを半押しするとが表示され、常に赤目軽減での発光になります。
- 撮影モードが、ドライブモードがまたは、フォーカスモードがに設定されているときは、常に（発光禁止）になります。
- またはが表示されていると、本発光の前にプリ発光（予備発光）を行います。
- モードでは、との み選択できます。
- モードでは (発光禁止)になります。

1 モードで十字キー（◀）を押す

押すたびにストロボモードが切り替わります。（十字キー（▲▼）でも切り替えられます。）

4 撮影する

2　OKボタンを押す

選択したストロボモードで撮影ができる状態になります。

「赤目」現象を防ぐには
ストロボを使って撮影すると、ストロボ光が被写体の網膜に反射して、目が赤く写ることがあります。これを防ぐために、次の方法をお試しください。
- 被写体の周りを明るくする。
- ストロボモードを（オート+赤目）や（強制+赤目）にする。

（赤目補正）機能を使って、赤目になった写真を後から修正することもできます。（p.107）

で使えます

ISO感度を決める

撮影する場所の明るさに応じて、ISO感度を設定することができます。

ISO感度

オート	ISO 100～800までの間で自動調整されます。（Digital SR モードではISO 100～1600までの間で自動調整されます。）
100	• ISO感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ない画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 • ISO感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッター速度を早くできます。画像にはノイズが増えます。
200	
400	
800	
1600	

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「感度」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）でISO感度を選ぶ

5 OKボタンを押す

ISO感度の設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

• モードでは、オート（ISO100～1600）に固定されます。
• モードでは、ISO200に固定されます。

ISO感度を保存する ☞p.78

で使えます

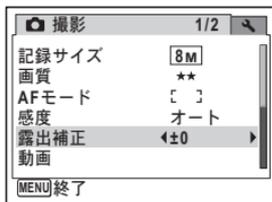
画像の明るさを変える（露出の調整）

撮影する画像全体の明るさを調整します。
意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影する際に利用します。

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「露出補正」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）を押して、補正量を選ぶ

選んだ補正量で保存されます。
明るくする場合は+側に、暗くする場合は–側に設定します。
露出補正の値は、–2.0EV～+2.0EVの範囲を1/3EV単位で選択できます。

4 MENUボタンを押す

設定を終了して、撮影できる状態になります。

メモ
モードと モードでは、露出補正は±0.0に固定されます。

露出補正値を保存する ☞p.78

4 撮影する

便利な機能でもっと楽しく

撮影情報を見る

📷 モードで**OK/DISPLAY**ボタンを押すと、撮影情報の表示スタイルを、次のように切り替えることができます。表示の意味について詳しくは、p.14をご覧ください。

通常表示

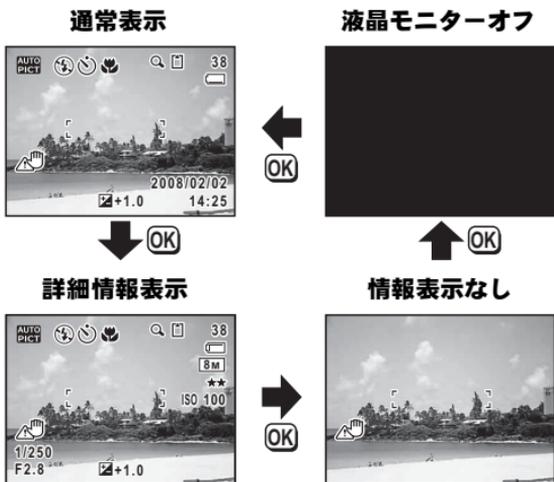
AUTO PICT 38
2008/02/02
+1.0 14:25

液晶モニターオフ

OK

詳細情報表示

AUTO PICT 38
8M
ISO 100
1/250
F2.8 +1.0

情報表示なし

- ▯▯▯モードでは、1枚目の撮影画面にのみ、撮影情報が表示されます。2枚目以降の撮影画面には表示されません。
- 🎙モードでは、通常表示と液晶モニターオフのみ切り替えることができます。

手ぶれしやすい条件のとき、シャッターボタンを半押しすると、⚠が表示されます。手ぶれを防ぐには、三脚とセルフタイマーを使っての撮影が有効です。（p.74）

で使えます

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒または2秒後に撮影されます。セルフタイマーを使って撮影するときは、カメラを三脚などに固定してください。

⏲	撮影者も含めて集合写真を撮る場合などに利用できます。 シャッターボタンを押してから約10 秒後に撮影されます。
⏲2S	シャッターボタンを押してから2秒後に撮影されますので、手ぶれを避けるために利用できます。

1　モードで十字キー（▲）を押す

2　十字キー（◄►▼）を押して、⏲ または⏲2S を選び、OK ボタンを押す

セルフタイマーを使って撮影できる状態になります。

3　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4　シャッターボタンを全押しする

10秒後または2秒後に撮影されます。

- 静止画撮影の場合、セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。
- ⏲2S は モードの初期設定では選べません。ただし、他の撮影モードで⏲2S を選んでから モードに切り替えると、選べるようになります。
- モードでは、⏲（セルフタイマー /10秒）は選べません。

- モードでは、10秒（または2秒）後に動画撮影が始まります。
- カウントダウン中にシャッターボタンを半押しするとカウントダウンを中止し、全押しするとカウントダウンをやり直します。

4 撮影する

P で使えます

連続して撮影する

何枚もの静止画を連続して撮影することができます。

	連続撮影	1枚撮影するごとに、画像をメモリーに書き込み、続いて次の静止画を撮影します。
	16連写	シャッターボタンを1回押すと、2秒間に16枚の静止画を連続で撮影します。1コマの記録サイズは640に固定されます。

1 モードで十字キー（▲）を押す

2 十字キー（◀▶）で （連続撮影）または （16連写）を選び、OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

「連続撮影」の場合：シャッターボタンを押し続けている間、連続して撮影されます。
「16連写」の場合：シャッターボタンを1回押すと、2秒間に16枚の静止画を連写します。

- 連続撮影と16連写では、ストロボは発光しません。
- 、AUTO PICT、、、、、モードでは、連続撮影と16連写はできません。
- モードでは連続撮影はできますが、16連写はできません。

4 撮影する

- 連続撮影と16連写では、ピント位置、露出の設定は、1枚目で固定されます。
- 連続撮影では、SD メモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになるまで撮影し続けることができます。
- 連続撮影の撮影間隔は、記録サイズと画質の設定により異なります。高画質の画像ほど、撮影間隔が長くなります。
- 16連写した画像は、16枚の画像が縦4枚×横4枚に並んだ1枚の画像としてプリントされます。
- 16連写した画像は、再生する機器により表示のされかたが違います。
  - このカメラでは、16枚の静止画が連続再生されて、動画のように見えます。逆方向への再生や一時停止、一時停止中のコマ送りなども、動画と同じ操作（p.90）で行うことができます（音量の調節を除く）。また一時停止中にグリーンボタンを押すと、表示されている画像が1コマ保存されます。
  - パソコンでは、16枚の静止画が縦4枚×横4枚に並んだ1枚の画像として表示されます。

で使えます

画像に撮影日を写し込む

撮影する静止画に、撮影日付を写し込むことができます。

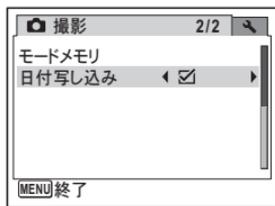
1　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「日付写し込み」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

4　MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

日付は、あとから消去できません。

- 日付は、「日時設定」で設定した表示スタイルで写し込まれます。
- 日付写し込みをオンに設定すると、画面にDATE（日付写し込みオン）アイコンが表示されます。
- モードでパノラマ写真を撮る場合、つなぎ合わせたあとの写真の右下に日付を写し込みます。

自分の設定を保存する（モードメモリ）

カメラの電源をオフにしても、カメラの諸設定を維持する機能を「モードメモリ」と呼びます。
撮影のための設定には、モードメモリが常に☑（オン）のもの（電源をオフにしても常に設定を維持するもの）と、モードメモリのオン／オフが選べるもの（電源をオフにしたときに設定を維持するかどうかを選べるもの）があります。モードメモリのオン／オフが選べる項目を表に示します。（ここに示した以外の項目は、電源をオフにしても常に設定が保存されます）☑（オン）を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリーします。□（オフ）を選ぶと、電源をオフにしたときにその項目の設定がご購入時の状態に戻ります。表では、モードメモリの初期設定がオンの状態なのか、オフの状態なのかも示しています。

項目	内容	初期設定
ストロボモード	十字キー（◀）で設定したストロボモード（p.69）	☑
ドライブモード	十字キー（▲）で設定したドライブモード（p.74、p.75）	□
フォーカスモード	十字キー（▶）で設定したフォーカスモード（p.66）	□
ズーム位置	ズーム/♠♠♠/♠ボタンで設定したズーム位置（p.65）	□
感度	「📷撮影」メニューの「感度」で設定した値（p.71）	□
露出補正	「📷撮影」メニューの「露出補正」で設定した値（p.72）	□
DISPLAY	**OK/DISPLAY** ボタンで設定した液晶モニターの情報表示状態（p.73、p.84）	□
ファイルNo.	オンにすると、SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連続したファイル番号を使用	☑

1 📷モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「モードメモリ」画面が表示されます。

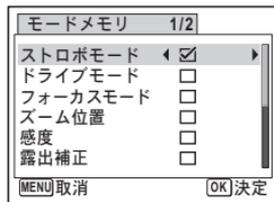
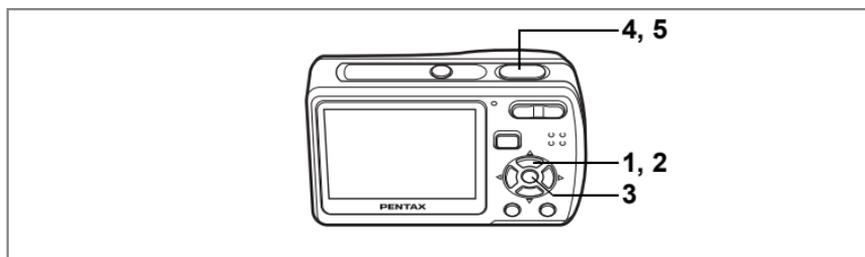
4 十字キー（▲▼）で項目を選ぶ

5 十字キー（◀▶）で☑（オン）か☐（オフ）に切り替える

6 OKボタンを押す

モードメモリの設定が保存されます。

7 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

動画を撮る

🎥で使えます

動画の撮りかた

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

1　◘モードで十字キー（▼）を押す

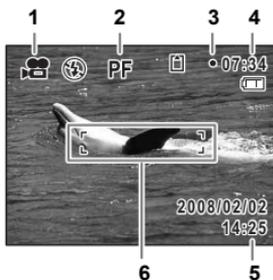
撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で🎥（動画）を選ぶ

3 OKボタンを押す

モードが選択され、撮影できる状態になります。

液晶モニターに次の情報が表示されます。

1 動画モードアイコン
2 フォーカスモードアイコン
3 録画中アイコン（手順 4 で撮影が開始されると表示され、録画中に点滅します）
4 撮影時間
5 現在の日時
6 フォーカスフレーム（録画中は表示されません）

ズームボタンを左右に押すと、被写体の写る範囲が変わります。

：被写体を拡大して写す

：被写体を広い範囲で写す

4 シャッターボタンを全押しする

録画が開始されます。内蔵メモリー／SD メモリーカードの容量いっぱい、または最大で2GBまで連続録画できます。

モードでは、ストロボは発光しません。

- 撮影開始前は光学ズームとデジタルズームが、撮影中はデジタルズームのみが使用できます。
- **AF**/を選択したときは、撮影開始前にピント調整ができます。
- 動画撮影中も、**OK**/**DISPLAY** ボタンを押して撮影情報を表示させることができます。

5 シャッターボタンを全押しする

撮影が終了します。

動画を再生する ☞p.90

シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

🎥で使えます

動画の撮影条件を決める

動画の「記録サイズ」「フレームレート」を選びます。

1 📷モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

動画の撮影条件を選ぶ画面が表示されます。

動画の記録サイズを選ぶ

記録サイズが大きいほど、動画データのサイズが増えます。データのサイズは、選んだフレームレートによっても異なります。

動画の記録サイズ

640（640×480）	テレビやパソコンの画面で観る場合に適しています。
320（320×240）	電子メールに添付したり、ホームページに掲載する場合に適しています。

4 十字キー（▲▼）で「記録サイズ」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

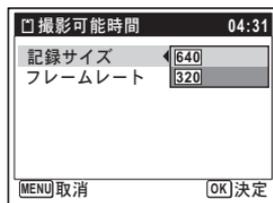
ポップアップが表示されます。

6 十字キー（▲▼）で記録サイズを切り替える

記録サイズを切り替えると、その記録サイズでの撮影可能時間が画面に表示されます。

7 OKボタンを押す

記録サイズの設定が保存されます。

4 撮影する

8　MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

動画のフレームレートを選ぶ

「フレームレート」で、動画のなめらかさが決まります。単位はfps（フレーム/秒）で、1秒間に撮る画面数を表します。数値が大きいほどなめらかな動画になりますが、データサイズも増えます。

4　十字キー（▲▼）で「フレームレート」を選ぶ

5　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

6　十字キー（▲▼）でフレームレートを切り替える

フレームレートを切り替えると、そのフレームレートでの撮影可能時間が画面に表示されます。

7　OKボタンを押す

フレームレートの設定が保存されます。

8　MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

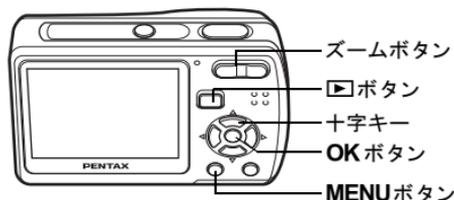
カメラで再生する

静止画の再生のしかた

Aモードのときに Q ボタンを押すと「Q モード（再生モード）」に切り替わり、静止画を再生できます。詳しくは、「静止画を再生する」（p.33）をご覧ください。
また、動画の再生については、「動画の再生のしかた」（p.90）をご覧ください。

再生中の画像の撮影情報を見る

Q モードで **OK/DISPLAY** ボタンを押すと、再生中の画像の撮影情報を次のように切り替えることができます。表示の意味について詳しくは、p.15をご覧ください。

撮影情報を見る ☞p.73

9画面表示、フォルダ表示、カレンダー表示をする

9画面表示

撮った画像を同時に9枚ずつ液晶モニターに表示させることができます。

1　▶モードで、ズームボタンの⊞を押す

画像が9コマで1ページとなるように表示され、ページ単位で表示される画像が変わります。
十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。10以上の画像が記録されている場合、①の画像を選択しているときに十字キー（▲◀）を押すと前のページが表示され、②の画像を選択しているときに十字キー（▼▶）を押すと次のページが表示されます。

選択枠
① ②
🗑選択消去　100-0010

画像の上に表示される記号の意味を示します。
無印 ：静止画
🎥 ：動画（1コマ目の画像が表示されます。）
🎤 ：音声ファイル

2　OKボタンを押す

選択した画像の1画面表示になります。
OKボタンのかわりに、**MENU**ボタンまたはズームボタンの🔍を押しても、1画面表示できます。

フォルダ表示/カレンダー表示に切り替える

9画面表示でズームボタンの⊞を押すと、フォルダ表示またはカレンダー表示に切り替わります。フォルダ表示とカレンダー表示は、グリーンボタンで切り替えることができます。

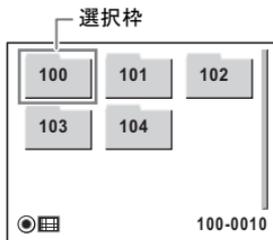
1　▶モードで、ズームボタンの⊞を押す

画面が9画面表示に切り替わります。

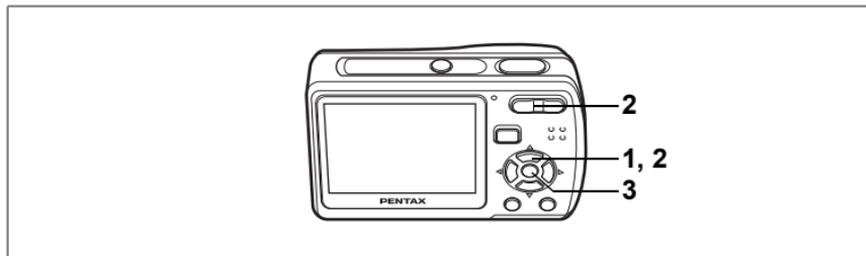
2　ズームボタンの⊞を押す

画面がフォルダ表示またはカレンダー表示に切り替わります。

フォルダ表示

画像や音声が記録されているフォルダが一覧表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。
フォルダを選択してズームボタンのQかOKボタンを押すと、フォルダ内の先頭画像を選択した9画面表示に切り替わります。

カレンダー表示

撮影した画像や録音した音声が、日付ごとにカレンダー形式で表示されます。
カレンダーの日付には、各日付で撮影された最初の画像が表示されます。
その日付で最初に記録されているのが音声データならば、🎤が表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。
日付を選択してズームボタンのQを押すと、その日付の先頭画像を選択した9画面表示に切り替わります。
日付を選択してOKボタンを押すと、その日付で最初に撮影した画像の1画面表示に切り替わります。

- フォルダ表示/カレンダー表示でMENUボタンを押すと、通常の9画面表示に切り替わります。
- フォルダ表示/カレンダー表示で▶ボタンまたはシャッターボタンを押すと、📷モードに切り替わります。

画像を拡大して再生する

画像を再生する際、最大8倍まで拡大表示できます。拡大中は、液晶モニターに画像の拡大個所の中心を表示するためのガイドが表示されます。

1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

2 ズームボタンの🔍を押す

画面が大きく（1.1倍～8倍）表示されます。ズームボタンの🔍を押し続けると連続的に大きさが変わります。
画像のどの部分を拡大しているかを画面左下のガイド表示で確認できます。

ガイド表示

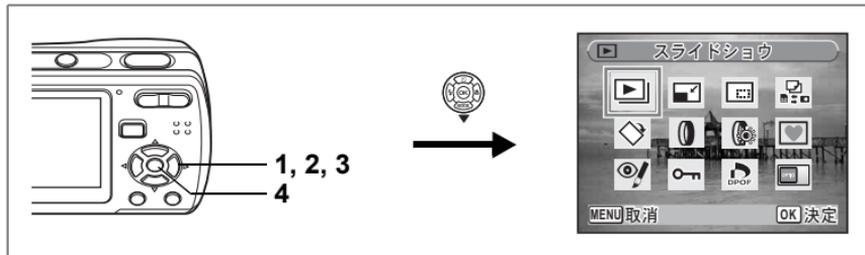
拡大表示中にできる操作

十字キー（▲▼◀▶）　：拡大位置を移動する
ズームボタン（🔍）　：画像を拡大する（最大8倍まで）
ズームボタン（⊞）　：画像を縮小する（最小1.1倍まで）

3 OKボタンを押す

1画面表示に戻ります。

- 16連写で撮影した画像と動画は、拡大表示できません。
- 液晶モニターが「情報表示なし」になっている場合は、ガイドは表示されません。

5 再生する・消去する

スライドショウを楽しむ

保存された画像を連続して再生します。

1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で▶（スライドショウ）を選ぶ

4 OKボタンを2回押す

スライドショウがスタートします。
スライドショウの途中でOKボタンを押すと、一時停止します。一時停止中にOKボタンを押すと再開します。

5 OKボタン、電源スイッチ以外のどれかのボタンを押す

スライドショウが終了します。

動画の再生中に十字キー（▶）を押すと、スライドショウは終了せずに次の画像を表示します。

スライドショウの条件を設定する

再生時の表示間隔、画像切り替え時の画面効果や効果音を設定します。

1 ▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で▶（スライドショウ）を選ぶ

3 OKボタンを押す

スライドショウの条件を設定する画面が表示されます。

4 十字キー(▲▼)で「表示間隔」を選ぶ

5 十字キー(▶)を押す

ポップアップが表示されます。

6 十字キー(▲▼)で表示間隔を切り替え、OKボタンを押す

3秒、5秒、10秒、20秒、30秒から選択できます。

7 十字キー(▲▼)で「画面効果」を選ぶ

「画面効果」を選択後、引き続き十字キー(▶)を押すと、下記の選択できる内容がポップアップで表示されます。十字キー(▲▼)で選択し、**OK**ボタンを押すと決定します。

オフ	切り替え効果なし
ワイプ	左から右へ画面が流れる効果
チェッカー	小さな四角のモザイク状のブロックで画面が切り替わる効果
フェード	現在の画像が徐々に消え、そこに次の画像が浮かび上がってくる効果

8 十字キー(▲▼)で「効果音」を選ぶ

9 十字キー(◀▶)で☑(オン)か□(オフ)に切り替える

画面効果が「オフ」以外のとき、画面が切り替わるときに流れる音のオン(☑)/オフ(□)を切り替えることができます。

10 OKボタンを押す

設定した表示間隔と画面効果でスライドショウが始まります。

ボイスレコーディングモードで録音した音声は、スライドショウでは再生されません。

- スライドショウは、**OK**ボタン、電源スイッチ以外のいずれかのボタンを押して終了するまで、何度でも繰り返します。
- 動画は、表示間隔の設定にかかわらず、通常はすべて再生されてから次の画像に移ります。ただし、動画の再生中に十字キー(▶)を押すと、次の画像へ移ります。
- パノラマ写真は、表示間隔の設定にかかわらず、5秒間スクロール再生されます。

テレビなどで再生する ☞p.91

動画を再生する

動画の再生のしかた

動画を再生します。音声も同時に再生されます。

1 ▶ モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2 十字キー（▲）を押す

再生が始まります。
再生の途中で十字キー（▲）を押すと、一時停止します。

再生中にできる操作

十字キー（◀）	：逆方向に再生
十字キー（▲）	：一時停止
ズームボタン（♠）	：音量を大きくする
ズームボタン（♠♠♠）	：音量を小さくする

一時停止中にできる操作

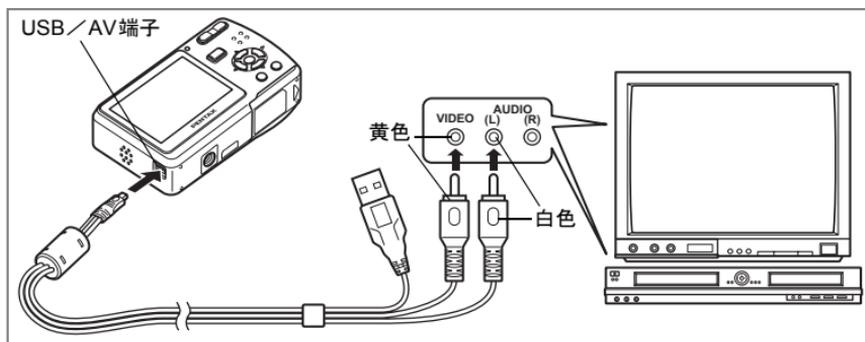
十字キー（◀）	：コマ戻しする
十字キー（▶）	：コマ送りする
十字キー（▲）	：一時停止を解除（再生）
グリーンボタン	：1コマ保存(16連写で撮影した画像の場合)

3 十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

- 16連写で撮影した画像も、動画と同じ操作で再生できます。
- 16連写で撮影した画像の1コマ保存では、表示しているコマの静止画が、640×480の記録サイズで新規保存されます。

5 再生する・消去する

テレビなどで再生する

付属のUSB/AVケーブルで、カメラをテレビなどのAV機器に接続すれば、AV機器のモニターに画像を映しながら撮影したり、再生ができます。ケーブルを接続する前に、必ずカメラとAV機器の電源をオフにしてください。

1　カメラのUSB/AV端子に、付属のUSB/AVケーブルを接続する

2　USB/AVケーブルのもう一方の端子（映像：黄色、音声：白色）を、AV機器の映像入力端子と音声入力端子に接続する

ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL（白）に差し込んでください。

3　AV機器の電源をオンにする

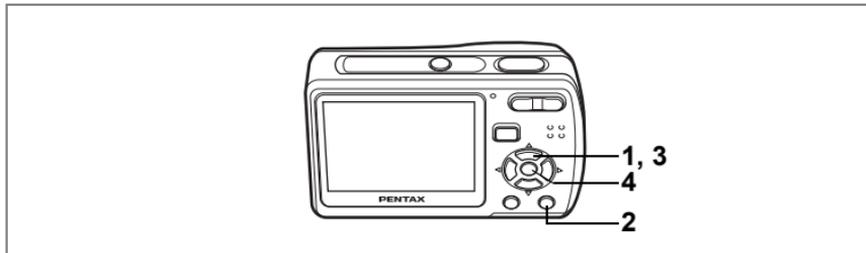
カメラを接続した機器と、画像を映し出す機器が別の場合は、両方の電源をオンにします。
複数の映像入力端子があるAV機器（テレビなど）で画像を見る場合は、ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続している映像入力端子を選択してください。

4　カメラの電源をオンにする

- 国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定（「NTSC」）になっていると画像や音声を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。（p.127）
- AV 機器に接続している間は、カメラの液晶モニターはオフになります。また、カメラのズームボタンで音量調整できません。

長時間使用するときは、ACアダプターキットK-AC62J（別売）の使用をおすすめします。（p.20）

画像や音声を消去する

失敗したり、不要になった画像や音声を消去します。

1画像／音声ずつ消去する

1画像、1音声ずつ消去します。

注意

プロテクトされている画像や音声は消去できません。（p.96）

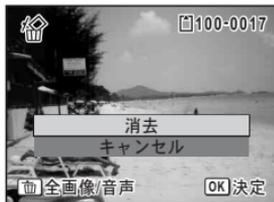
1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像／音声を選ぶ

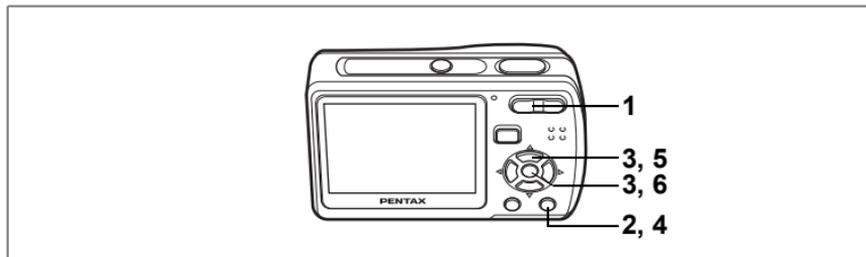
2　🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

消去されます。

メモ

クイックビューが表示されている間に🗑ボタンを押すと手順2の画面が表示され、撮影したばかりの画像を消去できます。（p.35）

9画面表示して消去する

9画面表示で複数の画像や音声を選択し、一括して削除します。

プロテクトされている画像や音声は消去できません。

1 ▶モードで、ズームボタンの⊞を押す

画像が9コマずつ表示されます。

2 🗑ボタンを押す

画像や音声に□が表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で削除する画像または音声に移動し、OK ボタンを押す

画像が選択され、☑ が表示されます。
ズームボタンのQを押すと、押している間だけ選択した画像が1画面表示されますので、削除したい画像かどうかを確認できます（離すと9画面表示に戻ります）。ただし、プロテクトされた画像は1画面表示できません。

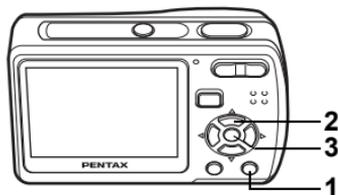
5 再生する・消去する

4　🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

5　十字キー（▲▼）で「選択消去」を選ぶ

6　OKボタンを押す

選択した画像や音声が消去されます。

まとめて消去する

保存されているすべての画像や音声を消去します。

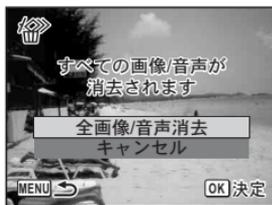
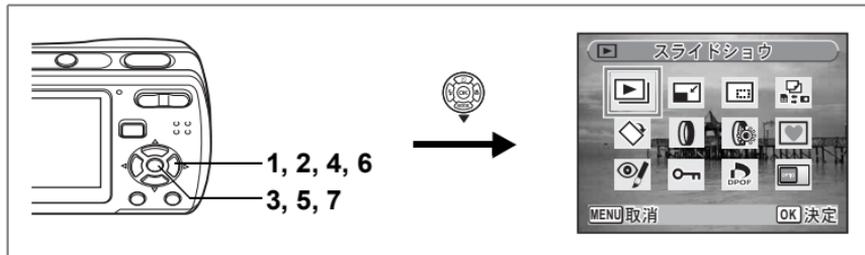
プロテクトされている画像や音声は消去できません。（p.96）

1　▶モードで🗑ボタンを2回押す

すべての画像や音声の消去を確認する画面が表示されます。

2　十字キー（▲▼）で「全画像/音声消去」を選ぶ

3　OKボタンを押す

すべての画像や音声が消去されます。

5
再生する・消去する

大切な画像を消さないために（プロテクト）

記録した画像や音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1　▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）でO‐ｍ（プロテクト）を選ぶ

3　OKボタンを押す

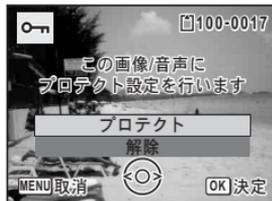
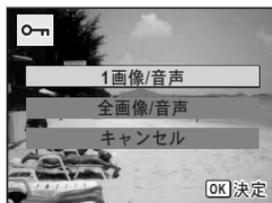
「1画像/音声」または「全画像/音声」を選択する画面が表示されます。

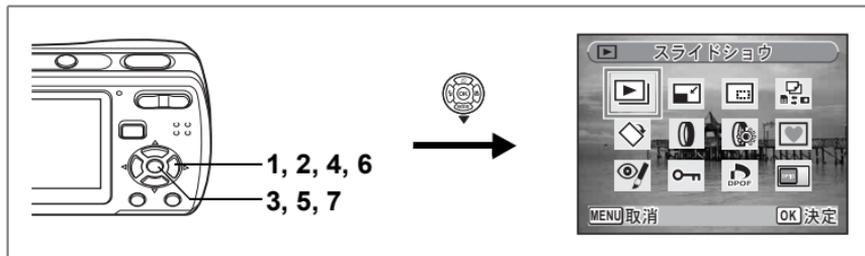
4　十字キー（▲▼）で「1画像/音声」を選ぶ

5　OKボタンを押す

「この画像/音声にプロテクト設定を行います」というメッセージの画面が表示されます。別の画像または音声をプロテクトする場合は、十字キー（◀▶）で画像または音声を選びます。

6　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

7　OKボタンを押す

選択した画像または音声がプロテクトされます。

- プロテクトを解除するには、手順6で「解除」を選びます。
- プロテクトされている画像や音声には、再生時にファイル番号の下にO‐ｍが表示されます。

すべての画像と音声をプロテクトするには

1　▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）でО┳（プロテクト）を選ぶ

3　OKボタンを押す

「1画像/音声」または「全画像/音声」を選択する画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で「全画像 / 音声」を選ぶ

5　OKボタンを押す

「プロテクト」または「解除」を選択する画面が表示されます。

すべての画像/音声に
プロテクト設定を行います
プロテクト
解除
MENU 取消
OK 決定

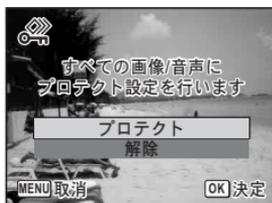
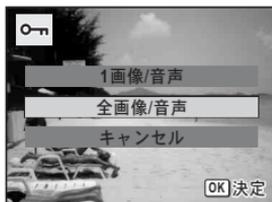
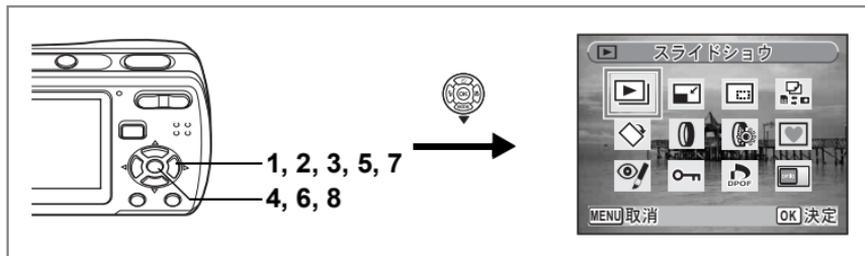
6　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

7　OKボタンを押す

すべての画像と音声がプロテクトされます。

SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットすると、プロテクトされている画像や音声も消去されます。

手順6で「解除」を選ぶと、すべての画像と音声のプロテクト設定が解除されます。

撮った画像を編集する

画像のサイズと画質を変える（リサイズ）

撮った画像の記録サイズと画質を変更して、元の画像よりもファイルサイズを小さくすることができます。
SD メモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになって撮影できなくなったとき、画像をリサイズして上書きすれば、空き容量が増え、続けて撮影できます。

注意
- パノラマ写真、16連写で撮影した画像、動画は、リサイズできません。
- 元の画像よりも大きいサイズ、きれいな画質は選択できません。

メモ
リサイズ後の「記録サイズ」としては、撮影可能な記録サイズ（p.62）の他に7M、6M、320も選択できます。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でリサイズする画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（リサイズ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

記録サイズと画質を選択する画面が表示されます。

5　「記録サイズ」と「画質」を選択する

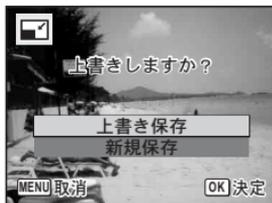
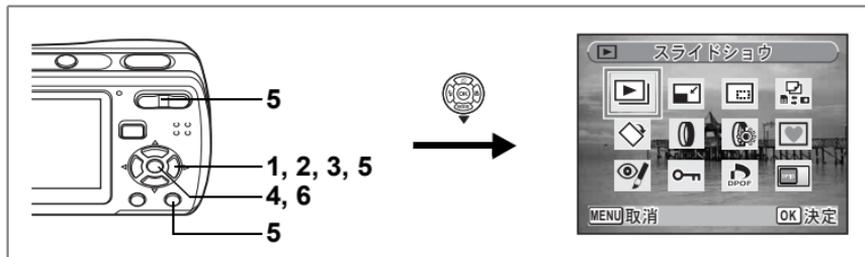
それぞれ、十字キー（◀▶）で選択します。
「記録サイズ」と「画質」の切り替えは、十字キー（▲▼）で行います。

6 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。
画像がプロテクトされている場合は、確認画面は表示されず、自動的に新規保存されます。

7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8 OKボタンを押す

リサイズされた画像が保存されます。

画像をトリミングする

画像周囲の不要な部分をカットして、別の画像として保存します。

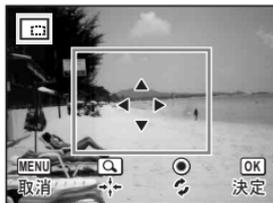
1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でトリミングしたい画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で⬚（トリミング）を選ぶ

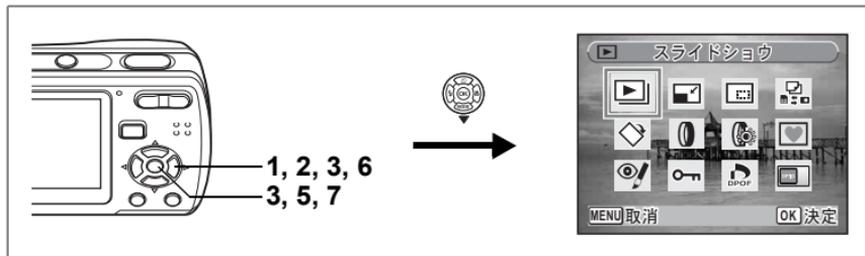
4　OKボタンを押す

トリミングを行う画面が表示されます。

5　トリミングする範囲を指定する

ズームボタン	: トリミングサイズを変える
十字キー（▲▼◀▶）	: トリミング範囲を移動する
グリーンボタン	: トリミング範囲を回転する

6　OKボタンを押す

トリミングされた画像が新しいファイル名で保存されます。
トリミング後の画像は、元の画像と同じ画質で保存されます。記録サイズは、トリミングサイズに応じて自動的に設定されます。

注意　パノラマ写真、16連写で撮影した画像、動画は、トリミングできません。

画像や音声をコピーする

内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声をコピーします。カメラにSDメモリーカードが入っていないと、この機能は選択できません。

注意 SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

1 ▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で（画像/音声コピー）を選ぶ

3 OKボタンを押す

コピー方法を選択する画面が表示されます。

内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合

内蔵メモリー内のすべての画像と音声をSDメモリーカードにまとめてコピーします。画像をコピーする前に、SDメモリーカードに充分な容量があることを確認しておいてください。

4 十字キー(▲▼)を押して「●➡SD」を選ぶ

5 OKボタンを押す

すべての画像と音声がコピーされます。

6 画像編集する・印刷する

SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合

SDメモリーカード内の画像や音声を1つずつ選んで、内蔵メモリーにコピーします。

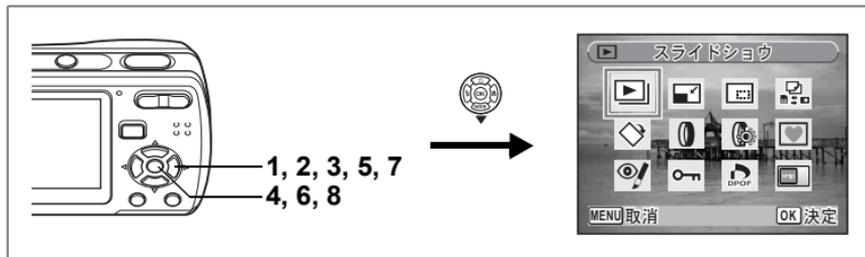
4　十字キー(▲▼)を押して「SD➡内蔵メモリー」を選ぶ

5　OKボタンを押す

6　十字キー（◀▶）でコピーするファイルを選ぶ

7　OKボタンを押す

選択した画像／音声がコピーされます。

メモ　SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合、新しいファイル名で画像がコピーされます。

画像の色調などを変える（デジタルフィルタ）

デジタルフィルタを使うと、パソコンを使わなくても、撮った画像の色調などを変えることができます。白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄の8種類のフィルタで、センスを活かしたアレンジが楽しめます。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で編集する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で ◐（デジタルフィルタ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

デジタルフィルタを選ぶ画面が表示されます。

5　十字キー（▲▼）で使用するデジタルフィルタを選ぶ

切り替えるたびに、そのフィルタで加工した結果が液晶モニターに表示されるので、確認しながら選びます。

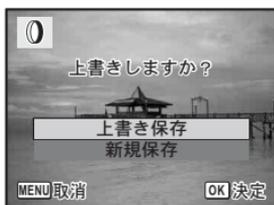
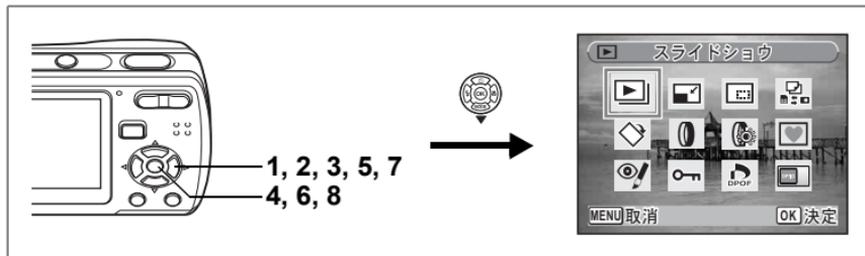
6　OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、確認画面は表示されず、自動的に新規保存されます。

8　OKボタンを押す

デジタルフィルタで加工された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

注意　デジタルフィルタで加工できるのは、このカメラで撮った静止画のみです。パノラマ写真、動画、他のカメラで撮った静止画は加工できません。

画像の明るさを変える（明るさフィルタ）

明るさフィルタを使うと、パソコンを使わずに、撮った画像の明るさを変えることができます。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で編集する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（明るさフィルタ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

明るさを調整する画面が表示されます。

5　十字キー（◀▶）で明るさを調整する

切り替えるたびに、液晶モニターに表示中の画像の明るさも変わるので、確認しながら選びます。

6　OKボタンを押す

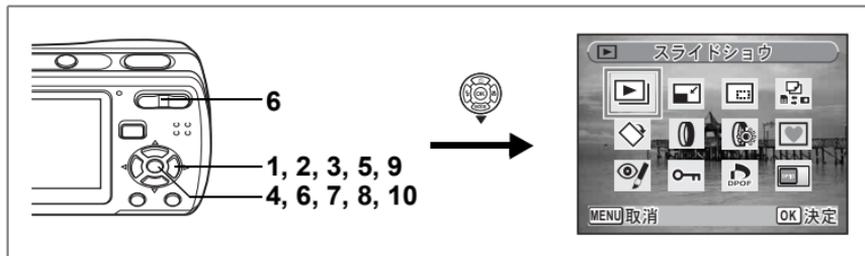
上書きを確認する画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、確認画面は表示されず、自動的に新規保存されます。

8　OKボタンを押す

明るさフィルタで加工された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

注意　明るさフィルタで加工できるのは、このカメラで撮った静止画のみです。パノラマ写真、動画、他のカメラで撮った静止画は加工できません。

撮った画像にフレームを合成する

撮った静止画に、あとからフレーム（飾り枠）を合成して楽しめます。あらかじめカメラに登録されているフレームのほか、ホームページからダウンロードしたフレームも使えます。

1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）でフレーム合成する画像を選ぶ

2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で♥（フレーム合成）を選ぶ

4 OKボタンを押す

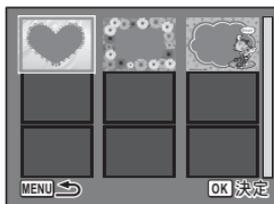
選べるフレームが9画面表示されます。

5 十字キー（▲▼◀▶）で使用するフレームを選ぶ

6 OKボタンまたはズームボタンの🔍を押す

選んだフレームが1画面表示されます。
フレームは次の方法で選びなおすことができます。

十字キー（◀▶）：別のフレームに切り替える

MENUボタンまたはズームボタン（）
：選べるフレームの9画面表示に戻る

7 OKボタンを押す

画像の位置調整、拡大と縮小を行う画面が表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で画像の位置を調整し、ズームボタンで画像の拡大と縮小をすることができます。

8 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

9 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、確認画面は表示されず、自動的に新規保存されます。

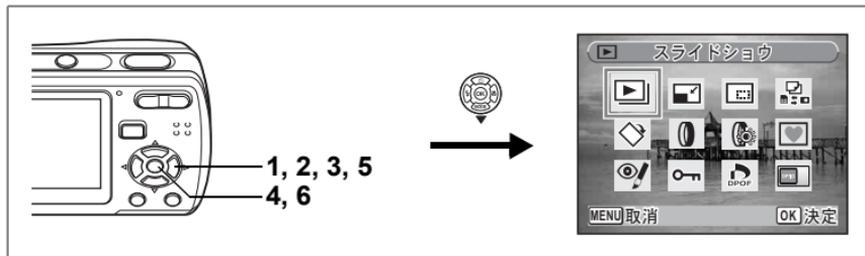
10 OKボタンを押す

フレームが合成された画像が、3M の記録サイズで保存されます。

パノラマ写真、16連写で撮影した画像、動画、2M 以下のサイズの画像は、フレーム合成できません。手順4でエラーメッセージが表示されます。

新しく入手したフレームを使う

ホームページなどから入手したフレームを使って、フレーム合成することもできます。手順3で♥（フレーム合成）を選びOKボタンを押すと、内蔵メモリーとSDメモリーカードに保存されているフレームが表示されます。

- あらかじめ内蔵メモリー内に登録されている3種類のフレームは削除することができません。
- ダウンロードして新しく入手したフレームは、最大96種類まで表示することができますので、内蔵メモリーに登録されている3種類のフレームと合わせ、99種類から選択することができます。

赤目を補正する

ストロボ撮影で人物の目が赤く写った画像を補正します。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で赤目補正する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で 👁 （赤目補正）を選ぶ

4　OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

5　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、確認画面は表示されず、自動的に新規保存されます。

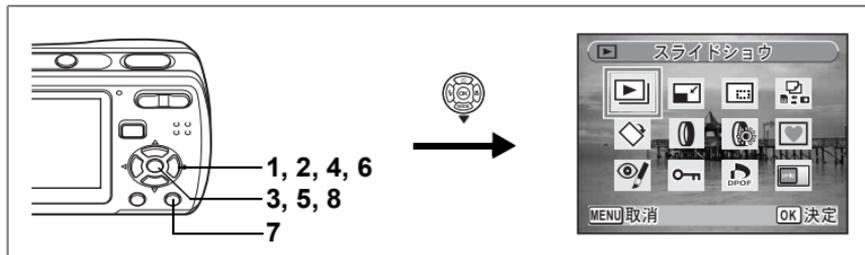
6　OKボタンを押す

赤目補正された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

- 動画や、カメラが赤目画像と判断できなかった静止画は「赤目補正」できません。手順4でエラーメッセージが表示されます。
- 赤目補正できるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。ただしパノラマ写真、16連写で撮影した画像は赤目補正できません。

6 画像編集する・印刷する

DPOFの設定をする

DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した静止画像に、プリントのための情報を記録するためのフォーマットです。撮影した静止画にDPOF設定をすると、DPOF対応プリンターやプリントサービス店でDPOF設定にしたがったプリントが行えます。
動画や音声のみのファイルには、DPOF 設定をすることはできません。

1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。

枚数	プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
日付	プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

1　▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で DPOF（DPOF）を選ぶ

3　OKボタンを押す

「1画像」または「全画像」を選択する画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で「1画像」を選ぶ

5 OKボタンを押す

「この画像にDPOF設定を行います」というメッセージの画面が表示されます。別の画像に DPOF 設定する場合は、十字キー（◀▶）で画像を選択します。
すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付の☑（オン）／□（オフ）が表示されます。

6 十字キー（▲▼）でプリント枚数を設定する

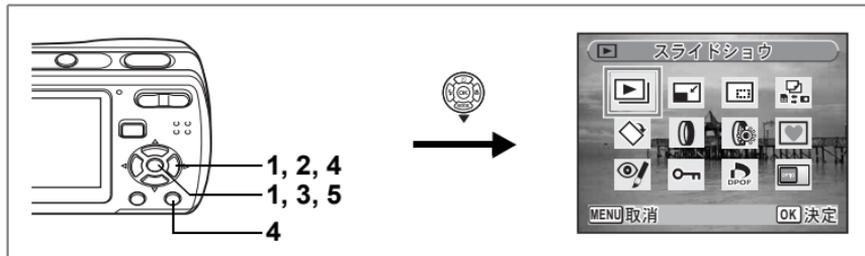
7 グリーンボタンを押し、「日付」を☑（オン）か□（オフ）に切り替える

☑ ：プリントに日付を入れる
□ ：プリントに日付を入れない
その他の画像にもDPOF設定をしたい場合は、十字キー（◀▶）で画像を選び、手順6、7を繰り返します。

8 OKボタンを押す

DPOF設定が保存され、DPOF設定メニュー画面に戻ります。

- プリンターやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で「日付」をオンにしても日付がプリントされないことがあります。
- 「日付写し込み」（p.77）を使用してすでに日付が入っている画像では、DPOF設定をオンにしないで下さい。日付が二重に印刷されてしまいます。

DPOF設定を解除するには、手順6で枚数を「00」に設定して、**OK**ボタンを押します。

全画像を設定する

カメラに保存されているすべての画像に同じ「枚数」「日付」の設定が適用されます。

1 ▶モードでDPOFの設定をする画面を表示する

p.108の手順1～3をご覧ください。

2 十字キー（▲▼）で「全画像」を選ぶ

3 OKボタンを押す

「すべての画像にDPOF設定を行います」というメッセージの画面が表示されます。

4 プリント枚数、日付を☑（オン）か□（オフ）に切り替える

設定のしかたは「1画像ずつ設定する」の手順6、7（p.109）をご覧ください。

5 OKボタンを押す

設定した値で全画像のDPOF設定が保存され、DPOFの設定をする画面に戻ります。

- 全画像設定では、すべての画像に同じプリント枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。
- 「日付写し込み」（p.77）を使用してすでに日付が入っている画像では、DPOF設定をオンにしないで下さい。日付が二重に印刷されてしまいます。

全画像設定を行うと、1画像ずつの設定は解除されます。

カメラとプリンターをつないでプリントする（PictBridge）

付属のUSB/AVケーブル（I-UAV77）でカメラをPictBridge対応プリンターに接続すると、パソコンを介さなくてもカメラからダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリント枚数などは、カメラとプリンターを接続した状態で、カメラ側で設定します。

- カメラをプリンターに接続するときは、ACアダプターキットK-AC62J（別売）のご使用をおすすめします。プリンターと通信中に電池が消耗すると、プリンターが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- データ転送中は、USB/AVケーブルを抜かないでください。
- プリンターの機種によっては、カメラ側の設定（印刷設定、DPOF設定など）が一部反映されないことがあります。
- 設定されたプリント枚数が500枚以上になる場合、正しくプリントされないことがあります。
- 1枚の用紙に複数画像をプリントする設定はカメラではできません。プリンター側で設定するか、パソコンを使って印刷してください。

カメラをプリンターに接続する

1 「🔧 設定」メニューの「USB 接続」を「PictBridge」に設定する

「USB接続モードを変更する」（p.126）をご覧ください。

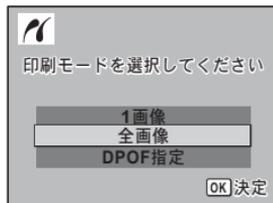
2 カメラの電源をオフにする

3 付属のUSB/AVケーブルでカメラをプリンターに接続する

4 プリンターの電源をオンにする

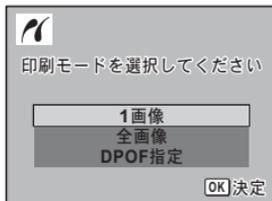
5 プリンターの起動が完了したら、カメラの電源をオンにする

印刷モードを選択する画面が表示されます。

6 画像編集する・印刷する

1画像ずつプリントする

1　印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「1画像」を選ぶ

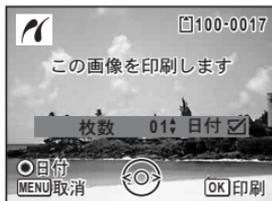
2　OKボタンを押す

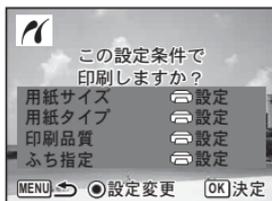
印刷条件を設定する画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ

4　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

99枚まで設定できます。

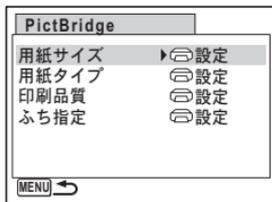
5　グリーンボタンで、「日付」を☑（オン）か□（オフ）に切り替える

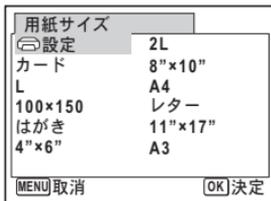
☑　：プリントに日付を入れる
□　：プリントに日付を入れない

6　OKボタンを押す

印刷設定を確認する画面が表示されます。
プリンター側の印刷設定でプリントするときは、**OK**ボタンを押します。
印刷設定を変更するときは、手順7へ進みます。

7　グリーンボタンを押す

印刷設定の変更画面が表示されます。

8　「用紙サイズ」を選び、十字キー（▶）を押す

用紙サイズの選択画面が表示されます。

9 十字キー（▲▼◀▶）で用紙サイズを選ぶ

お使いのプリンターで印刷可能な用紙だけが選択できます。

10 OKボタンを押す

用紙サイズの設定が保存され、印刷設定の変更画面に戻ります。

11 十字キー（▲▼）で「用紙タイプ」を選び、十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

12 十字キー（▲▼）で用紙タイプを選び、OKボタンを押す

用紙タイプの設定が保存され、印刷設定の変更画面に戻ります。引き続き、手順11～12と同様の操作で「印刷品質」「ふち指定」を設定します。

それぞれの設定を選択するとプリンター側の設定にしたがいます。

用紙タイプは、★の数が多いほど高品質な用紙に対応します。

印刷品質は、★の数が多いほど高品質な印刷を行います。

各項目の設定が終了するごとに、印刷設定の変更画面が表示されます。

13 MENUボタンを押す

印刷設定を確認する画面に戻ります。

14 OKボタンを押す

設定した値で印刷が開始されます。

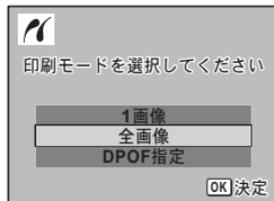
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

- プリンターと通信中は電源ランプが点灯、カードアクセス中、プリント中は電源ランプが点滅してお知らせします。電源ランプ点滅中は、USB／AVケーブルを取り外さないでください。
- 「日付写し込み」（p.77）を使用してすでに日付が入っている画像では、DPOF設定をオンにしないで下さい。日付が二重に印刷されてしまいます。

「用紙サイズ」「用紙タイプ」「印刷品質」「ふち指定」の設定は、カメラの電源を切ると、ご購入時の状態に戻ります。

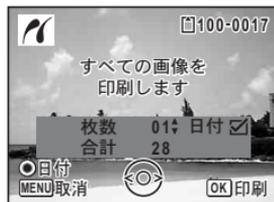
プリンターからケーブルを取り外す ☞p.115

全画像をプリントする

1　印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「全画像」を選ぶ

2　OKボタンを押す

印刷する条件を設定する画面が表示されます。

3　プリント枚数、日付プリントの有無を設定する

全画像を何枚ずつプリントするか、日付を
プリントするかどうかを選びます。
設定のしかたは「1画像ずつプリントする」の手順4、5（p.112）をご覧ください。

4　OKボタンを押す

印刷設定の確認画面が表示されます。
印刷設定を変更するときは、「1画像ずつプリントする」の手順7～11（p.112～p.113）をご覧ください。

5　印刷設定の確認画面でOKボタンを押す

設定した条件で全画像のプリントが開始されます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

「日付写し込み」（p.77）を使用してすでに日付が入っている画像では、DPOF設定をオンにしないで下さい。日付が二重に印刷されてしまいます。

DPOFの設定でプリントする

1　印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「DPOF指定」を選ぶ

2　OKボタンを押す

DPOF設定の内容が表示されます。
十字キー（◀▶）で、画像ごとの印刷枚数、日付の有無、プリント合計枚数を確認できます。DPOF設定については、p.108をご覧ください。

3　OKボタンを押す

印刷設定の確認画面が表示されます。
印刷設定を変更するときは、「1画像ずつプリントする」の手順7～11（p.112～p.113）をご覧ください。

4　印刷設定の確認画面でOKボタンを押す

設定した内容でプリントされます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

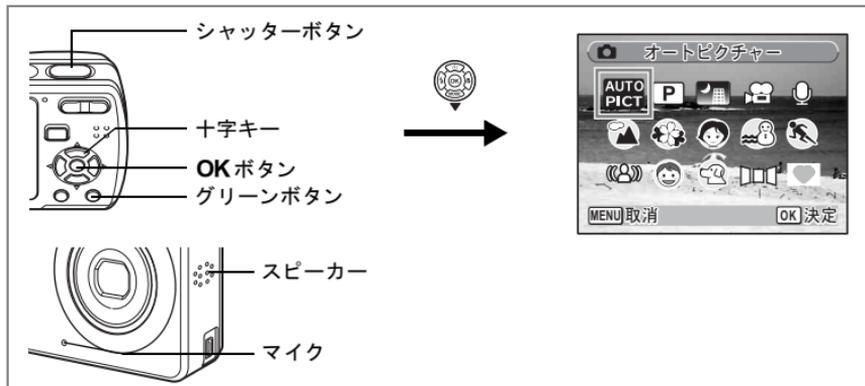
プリンターからケーブルを取り外す

プリントが終了したら、USB/AVケーブルをカメラとプリンターから取り外します。

1　カメラの電源をオフにする

2　カメラとプリンターからUSB/AVケーブルを取り外す

音声を録音する（ボイスレコーディングモード）

音声を記録します。マイクはカメラの正面に向かってレンズの左下にありますので、音声を記録する際は最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。

1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

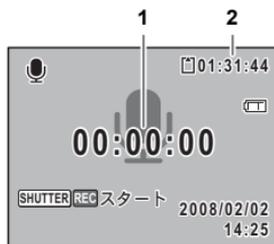
2 十字キー（▲▼◀▶）で（ボイスレコーディング）を選ぶ

3 OKボタンを押す

液晶モニターに録音可能な時間と、これから録音するファイルの録音時間が表示されます。

1 録音時間
2 残り録音可能時間

4 シャッターボタンを全押しする

01:30:22
00:01:22
SHUTTER REC ストップ
2008/02/02
◉インデックス
14:25

録音が開始されます。録音中は、電源ランプが点滅します。
録音は連続で内蔵メモリー/SDメモリーカードの空き容量いっぱい、または最大24時間まで可能です。
録音中にグリーンボタンを押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。

5 シャッターボタンを全押しする

録音を停止します。

- 手順4で1秒以上シャッターボタンを押し続けると、シャッターボタンを押し続けている間録音し、シャッターボタンから指を離したときに録音を停止します。
- 音声はモノラルのWAVEファイルで記録されます。

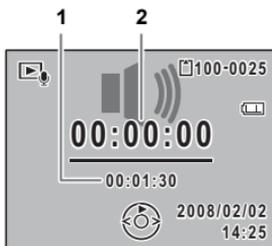
音声を再生する

🎙モードで録音した音声を再生します。

1 ▶ボタンを押す

2 十字キー（◀▶）で再生したい音声ファイルを選ぶ

3 十字キー（▲）を押す

録音を再生します。
1 ファイルの総録音時間
2 再生済時間

再生中にできる操作

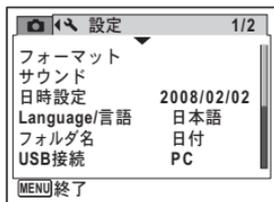
十字キー（▲）：再生を一時停止
ズームボタン（♠）：音量を大きくする
ズームボタン（♠♠♠）：音量を小さくする
インデックスがない場合
十字キー（◀）：巻き戻し
十字キー（▶）：早送り
インデックスがある場合
十字キー（◀）：前のインデックス位置から再生
十字キー（▶）：次のインデックス位置から再生

一時停止中にできる操作

十字キー（▲）：再生を再開
十字キー（◀）：約5秒前に戻る
十字キー（▶）：約5秒先に送る

4 十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

カメラの設定をする

SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。
SDメモリーカードが入っていない場合は、内蔵メモリーのデータが消去されます。

- SDメモリーカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされた画像や、このカメラ以外で記録したデータも消去されます。ご注意ください。
- パソコンなどこのカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。

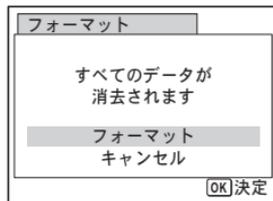
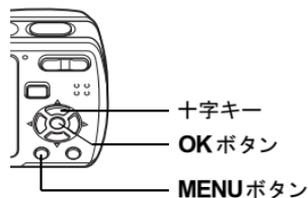
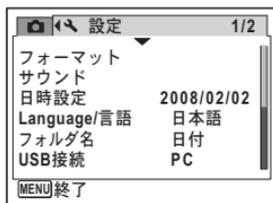
1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「フォーマット」画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「フォーマット」を選ぶ

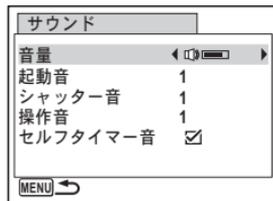
4 OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影モードまたは再生モードに戻ります。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

サウンドの設定を変更する

各種操作音の音量、それぞれの音の種類を変更できます。

1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「サウンド」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「サウンド」画面が表示されます。

操作音量を変更する

3 十字キー（▲▼）を押して「音量」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）を押して音量を調節する

選んだ音量が保存されます。
音量を0にすると起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音は鳴りません。

音の種類を変更する

5 十字キー（▲▼）を押して「起動音」を選ぶ

6 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

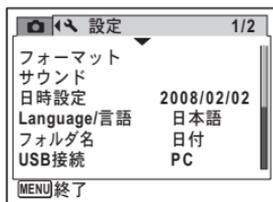
7 十字キー(▲▼)で「1」「2」「3」「オフ」のいずれかを選び、OKボタンを押す

選んだ音の種類が保存されます。

8 手順5〜7と同様の操作で「シャッター音」「操作音」を設定する

セルフタイマー音は、十字キー（◀▶）で☑（オン）か□（オフ）に切り替えます。

9 MENUボタンを押す

変更した設定のまま、「🔧設定」メニューに戻ります。

日時を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示形式を設定します。

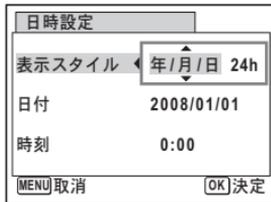
1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「日時設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「日時設定」画面が表示されます。

3 十字キー（▶）を押す

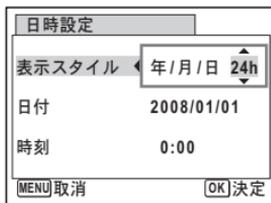
選択枠が「年/月/日」に移動します。
初期設定や前回の設定によっては、「月/日/年」または「日/月/年」が表示されていることもあります。

日時設定
表示スタイル 年/月/日 24h
日付 2008/01/01
時刻 0:00
MENU 取消　OK 決定

4 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選びます。

5 十字キー（▶）を押す

選択枠が「24h」に移動します。

6 十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を設定する

7 十字キー（▶）を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

8 十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

日時設定
表示スタイル　年/月/日　24h
日付　▶2008/01/01
時刻　0:00
MENU 取消　OK 決定

9 十字キー（▶）を押す

手順４で設定した表示スタイルにしたがって、選択枠が下記の項目に移動します。
「年/月/日」の場合　西暦年（例:「2008」年）
「月/日/年」の場合　月（例 :「01」月）
「日/月/年」の場合　日（例 :「01」日）
以下の操作手順や画面は、「年/月/日」に設定した場合です。他の表示スタイルに設定した場合でも、操作方法は同様です。

10 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

11 十字キー（▶）を押す

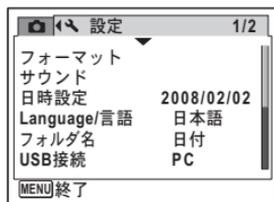
選択枠が「月」に移動します。十字キー（▲▼）で月を設定します。月を設定後は、同様の操作で、日を設定します。

12 手順7～10と同様の操作で、時刻を設定する

手順6で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

13 OKボタンを押す

日時の設定が保存されます。

日時の設定終了後、**OK** ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて **OK** ボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。
英語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／ポルトガル語／イタリア語／オランダ語／デンマーク語／スウェーデン語／フィンランド語／ポーランド語／チェコ語／ハンガリー語／トルコ語／ロシア語／タイ語／韓国語／中国語（繁体字/簡体字）／日本語の19言語に対応しています。

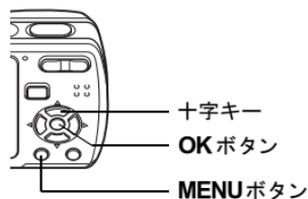
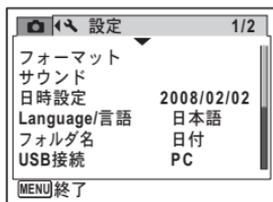
1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「Language/言語」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「Language/言語」画面が表示されます。

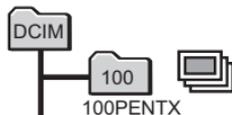
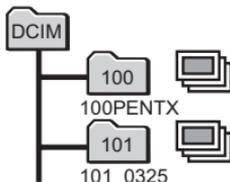
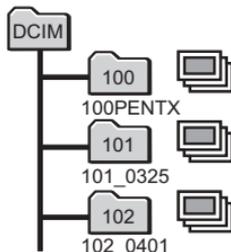
3 十字キー（▲▼◀▶）で表示させたい言語を選ぶ

4 OKボタンを押す

選んだ言語で表示するように設定されます。

画像のフォルダ名を変更する

撮影した画像や音声が保存されるフォルダ名の付けかたを、「標準」と「日付」から選びます。「日付」を選ぶと、撮影日ごと違うフォルダに保存されます。

フォルダ名

標準	XXXPENTX（XXXは3桁のフォルダ番号）
日付	XXX_mmdd（3桁のフォルダ番号_月日） ※ 日付の表示スタイルが「日／月／年」に設定されている場合は、xxx_ddmm（3桁のフォルダ番号_日月）になります。

1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「フォルダ名」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

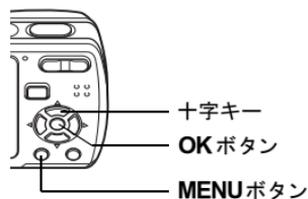
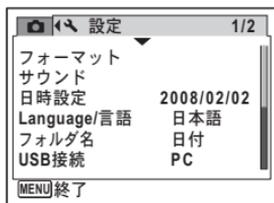
3 十字キー（▲▼）で「標準」か「日付」に切り替える

4 OKボタンを押す

フォルダ名の設定が保存されます。

メモ　ひとつのフォルダに、9999 個のファイルを保存できます。9999 個を超えると、 自動的に次のフォルダが作成されます。

8 設定

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

USB接続モードを変更する

USB/AVケーブルの接続先（パソコンまたはPictBridge対応プリンター）に応じてUSB接続モードを切り替えます。

パソコンとの接続については、別紙の「PC接続ガイド」をご覧ください。

1 「🔧 設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「USB接続」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「PC」か「PictBridge」に切り替える

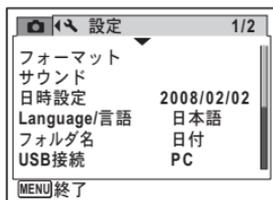
「PC」 : パソコンに画像を転送する場合に選択

「PictBridge」 : PictBridge対応のプリンターに接続する場合に選択

設定 1/2
フォーマット
サウンド
日時設定 2008/02/02
Language/言語 日本語
フォルダ名 PC
USB接続 PictBridge
MENU 取消 OK 決定

4 OKボタンを押す

USBモードの設定が保存されます。

「USB接続」で「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。また、「PC」に設定したままカメラをプリンターに接続しないでください。

ビデオ出力方式を選択する

カメラをテレビなどのAV機器につないで撮影や再生をするときのビデオ出力形式を、NTSC方式とPAL方式から選択します。

1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「ビデオ出力」を選ぶ

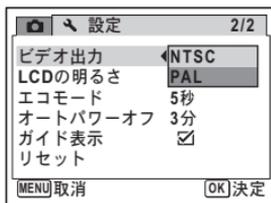
2 十字キー（▶）を押す

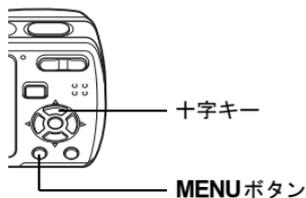
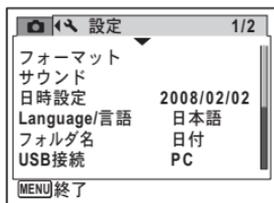
ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「NTSC」か「PAL」に切り替える

接続するAV機器のビデオ出力方式に合わせて選択します。

4 OKボタンを押す

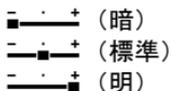
ビデオ出力方式の設定が保存されます。

国や地域によっては、ビデオ出力方式が初期設定（「NTSC」）になっていると画像や音声を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。

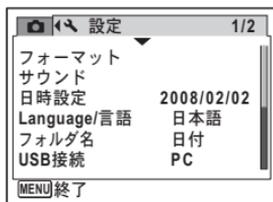
テレビなどで再生する ☞p.91

液晶モニターの明るさを設定する

液晶モニターの明るさを調節して、見やすくすることができます。日差しの強い屋外などで、液晶モニターが見にくいときにお使いください。

1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「LCDの明るさ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で明るさを調整する

（暗）
（標準）
（明）

3 MENUボタンを押す

撮影モードまたは再生モードに戻ります。液晶モニターは、設定した明るさで表示されます。

節電機能を使う（エコモード）

一定時間操作しないときに、液晶モニターの明るさが自動的に暗くなるように設定することで、電池の消耗を軽減します。節電機能が働き、液晶モニターが暗くなった場合は、何かのボタン操作をすると、元の明るさに戻ります。

1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「エコモード」を選ぶ

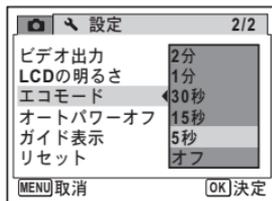
2 十字キー（▶）を押す

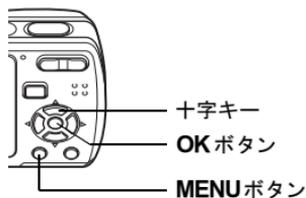
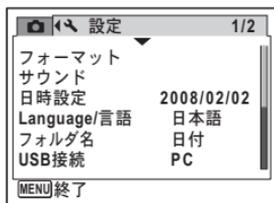
ポップアップが表示されます。

設定 2/2
ビデオ出力
LCDの明るさ
エコモード
オートパワーオフ
ガイド表示
リセット
2分
1分
30秒
15秒
5秒
オフ
MENU 取消　OK 決定

3 十字キー（▲▼）で「2分」「1分」「30秒」「15秒」「5秒」「オフ」のいずれかを選ぶ

4 OKボタンを押す

エコモードの設定が保存されます。

以下の場合はエコモードになりません。
- メニュー表示中
- 動画撮影中
- 再生中
- プリンター接続中
- テレビなどAV機器に出力中
- メッセージ表示中
- 「5秒」に設定されている場合、電源をオンにしてから何も操作しないと、エコモードになるのは15秒後になります。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

オートパワーオフを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

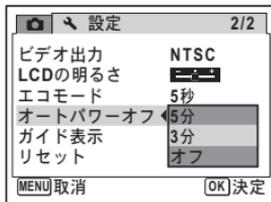
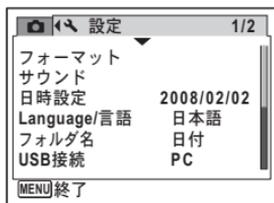
1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「オートパワーオフ」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「5分」か「3分」か「オフ」に切り替える

4 OKボタンを押す

オートパワーオフの設定が保存されます。

注意 パソコンやプリンターに接続しているときは、オートパワーオフ機能が作動しません。

ガイド表示を設定する

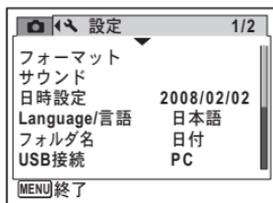
撮影モードパレット(p.45）や再生モードパレット（p.47）でアイコンを選んだときに、モードの説明を表示するかどうかを設定します。

1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「ガイド表示」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で☑（オン）か□（オフ）に切り替える

下記の設定で保存されます。
オン：表示させる
オフ：表示させない

3 MENUボタンを押す

撮影モードまたは再生モードに戻ります。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

設定をリセットする

カメラの設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。リセットできる項目については「初期設定一覧」（p.134）をご覧ください。

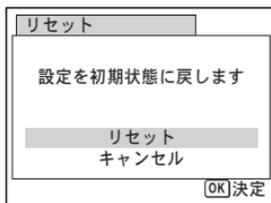
1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「リセット」を選ぶ

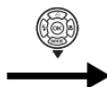
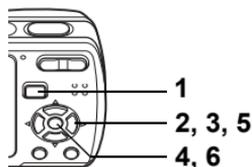
2 十字キー（▶）を押す

「リセット」画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「リセット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

設定がリセットされます。

「Language/言語」「日時設定」「ビデオ出力」は、リセットされません。

再生モードパレットの呼び出しかた

起動画面を変更する

カメラの電源をオンにしたときに起動画面として表示させる画像を設定します。

1 ▶ボタンを押す

▶モードに入ります。

2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で OPTIO（起動画面設定）を選ぶ

4 OKボタンを押す

起動画面を選択するための画面が表示されます。

5 十字キー（◀▶）を押して、起動画面として表示する画像を選ぶ

6 OKボタンを押す

起動画面の設定が保存されます。

注意 パノラマ写真、16連写で撮影した画像は起動画面には使えません。

- 設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SD メモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットしても消去されません。
- 「オフ」を選ぶと起動画面が表示されなくなります。

付録

初期設定一覧

工場出荷時の設定を表に示します。
各メニュー項目の中で初期設定値があるものについて表示内容の意味を示します。

ラストメモリ設定

する　：カメラの電源をオフにしても現在の設定（ラストメモリ）が保存される。
しない：カメラの電源をオフにすると初期設定に戻る。
※　　：「する」／「しない」は「モードメモリ」(p.78)の設定による。
ー　　：該当なし。

リセット設定

する　：リセット（p.132）で初期設定に戻る。
しない：リセットしても設定が保存される。

●「撮影」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
記録サイズ		8M(3264×2448)	する	する	p.62
画質		★★（ファイン）	する	する	p.64
AFモード		[ ]（マルチ）	する	する	p.68
感度		オート	※	する	p.71
露出補正		±0.0	※	する	p.72
動画	記録サイズ	640（640×480）	する	する	p.82
	フレームレート	30fps	する	する	p.83
モードメモリ	ストロボモード	☑（オン）	する	する	p.69
	ドライブモード	□（オフ）	する	する	p.74、p.75
	フォーカスモード	□（オフ）	する	する	p.66
	ズーム位置	□（オフ）	する	する	p.65
	感度	□（オフ）	する	する	p.71
	露出補正	□（オフ）	する	する	p.72
	DISPLAY	□（オフ）	する	する	p.73、p.84
	ファイルNo.	☑（オン）	する	する	—
日付写し込み		□（オフ）	する	する	p.77

●「設定」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
サウンド	音量	3	する	する	p.120
	起動音	1	する	する	
	シャッター音	1	する	する	
	操作音	1	する	する	
	セルフタイマー音	☑（オン）	する	する	
日時設定	表示スタイル(年月日)	初期設定による	する	しない	p.29
	表示スタイル（時間）	初期設定による	する	しない	
	日付	初期設定による	する	しない	
	時刻	初期設定による	する	しない	
Language/言語		初期設定による	する	しない	p.28
フォルダ名		日付	する	する	p.125
USB接続		PC	する	する	p.126
ビデオ出力		初期設定による	する	しない	p.127
LCDの明るさ		（標準）	する	する	p.128
エコモード		5秒	する	する	p.129
オートパワーオフ		3分	する	する	p.130
ガイド表示		☑（オン）	する	する	p.131

● 再生モードパレット項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
スライドショウ	表示間隔	3秒	する	する	p.88
	画面効果	ワイプ	する	する	
	効果音	☑（オン）	する	する	
起動画面設定		オフ	する	する	p.133

● キーによる操作

名称	機能	初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
▶ボタン	動作モード	▶モード	—	—	—
ズーム/♠♠♠/♠ボタン	ズーム位置	広角端	※	しない	p.65

名称		機能	初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
十字キー	▲	ドライブモード	ロ（標準）	※	する	p.74、p.75
	▼	撮影モード	AUTO PICT（オートピクチャー）	する	する	p.45
	◀	ストロボモード	⚡A（オート）	※	する	p.69
	▶	フォーカスモード	AF（標準）	※	する	p.66
MENUボタン		メニュー表示	撮影モード：「📷メニュー」 再生モード：「🔧メニュー」	—	—	p.40
OK/DISPLAYボタン		情報表示	標準	※	する	p.73、p.84

撮影モードごとの使える機能／使えない機能

○：設定でき、動作にも反映されます。
▲：固定設定のため変更できません。
△：設定はできますが、動作には反映されません。
×：設定できません。

		AUTO PICT	P								
（オート）	○	○※11	○※11	×	×	×	○	○	○※9	○※11	○
（発光禁止）	○	○	○	○	▲	×	○	○	○※9	○	○
（強制発光）	×	○※11	○※11	○	×	×	○	○	○※9	○※11	○
（オート＋赤目）	×	○	○	×	×	×	○	○	○※9	○	○
（強制＋赤目）	×	○	○	○	×	×	○	○	○※9	○	○
（セルフタイマー）	○※1	○	○	○	○	×	○	○	○※8	○	○
（2秒セルフタイマー）	○※1	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
（連続撮影）	×	×	○	×	×	×	○	×	○※7	○	○
（16連写）	×	×	○	×	×	×	×	×	○※7	○	○
AF（標準）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
（マクロ）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
（無限遠）	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
PF（パンフォーカス）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
記録サイズ	▲	○	○	○	○※2	△	○	▲	○※10	○	○
画質	▲	○	○	○	○※2	△	○	▲	○	○	○
AFモード	▲	▲※6	○※6	○	○※3	△	○	○	○	○※6	○
感度	▲	○	○	○	▲	△	▲※5	○	○	○	○
露出補正	×	×	○	○	○※4	△	○	○	○	○	○
動画	×	△	△	△	○	△	△	△	△	△	△
モードメモリ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日付写し込み	×	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○

※1　モード以外の撮影モードで設定した方が使用可能。
※2　「動画」設定値に準ず。
※3　コンティニュアスは不可。
※4　撮影中は不可。
※5　高感度オート固定。
※6　人物の顔を認識した場合、顔認識AFで動作。認識しない場合「AFモード」設定値に準ず。
※7　モードでは、連続撮影と16連写は不可。
※8　モードではセルフタイマー（10秒）は不可。
※9　モードではストロボ設定は不可（発光禁止固定）。
※10　モードでは、2M固定。「撮影」メニューでの変更不可。
※11　人物の顔を認識した場合、顔認識AF&AEで動作する。このとき、ストロボ発光する場合は強制＋赤目でストロボを発光。

別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプターキット K-AC62J

USB/AVケーブル I-UAV77（※）

ストラップ

O-ST62（※）

O-ST24　本革を使ったリッチなレザーストラップです。

O-ST8　シルバーに輝くチェーンストラップです。

O-ST30　表面をビニールコートしたストラップです。

カメラケース

O-CC58

O-CC72

（※）の製品は同梱品と同じものです。

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

<table>
<tr><td>電池容量がなくなりました</td><td>電池の残量がありません。新しい電池と交換するか、充電式電池の場合は充電器で充電してください。（p.18）</td></tr>
<tr><td>内蔵メモリーの空き容量がありません</td><td rowspan="2">内蔵メモリー／SDメモリーカードに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。
新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.22、p.92）
撮影済み画像の画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。（p.98）</td></tr>
<tr><td>カードの空き容量がありません</td></tr>
<tr><td>カードが異常です</td><td>SDメモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコン上では画像を表示またはコピーできる場合もあります。</td></tr>
<tr><td>カードがフォーマットされていません</td><td>フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。（p.119）</td></tr>
<tr><td>カードがロックされています</td><td>SDメモリーカードがライトプロテクトされています。（p.24）</td></tr>
<tr><td>圧縮に失敗しました</td><td>画像の圧縮に失敗しました。画質／サイズを変えて、もう一度撮影または保存してください。</td></tr>
<tr><td>画像/音声がありません</td><td>SDメモリーカードに再生できる画像や音声が保存されていません。</td></tr>
<tr><td>消去中です</td><td>画像や音声を消去中に表示されます。</td></tr>
<tr><td>再生できません</td><td>このカメラでは再生できない画像や音声を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。</td></tr>
<tr><td>フォルダが作成できません</td><td>最大のフォルダ番号（999）で最大のファイル番号（9999）が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードをフォーマットしてください。（p.119）</td></tr>
<tr><td>プロテクトされています</td><td>プロテクトされた画像や音声を消去しようとした場合に表示されます。</td></tr>
<tr><td>記録中です</td><td>画像がまだ記録中に、▶モード（再生モード）に切り替えたとき、またはプロテクト、DPOF設定記録中に表示されます。画像または設定の記録が終了したら表示が消えます。</td></tr>
<tr><td>処理中です</td><td>画像処理などに時間がかかり5秒以上スルー画像が表示できないとき、またはSDメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマット中に表示されます</td></tr>
</table>

この機能を使用するには、グリーンモードを解除してください。	モード（グリーンモード）では使用できません。グリーンボタンを押して、モードを解除してください。（p.48）
処理できる画像がありません	画像／音声ファイルが1つもない場合に表示されます。
この画像/音声を処理できません	処理できないファイルを編集しようとすると表示されます。
カードが入っていません	SDメモリーカードがセットされていない状態で「画像/音声コピー」を選択すると表示されます。
カードの空き容量が足りません 画像/音声をコピーできません	SDメモリーカード／内蔵メモリーにコピーに必要な空き容量がありません。 新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.22、p.92）
内蔵メモリーの空き容量が足りません 画像/音声をコピーできません	
正しく処理できませんでした	赤目補正処理ができなかった場合に表示されます。

PictBridge機能を使用する場合に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

用紙がありません	接続したプリンターの用紙がない場合に表示されます。
インクがありません	接続したプリンターのインクがない場合に表示されます。
プリンターエラーです	接続したプリンターからエラーメッセージが送られた場合に表示されます。
データエラーです	接続したプリンターからデータに関してのメッセージが送られた場合に表示されます。
用紙が詰まりました	接続したプリンターで紙詰まりが起こった場合に表示されます。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	電池の入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください。電池室内の⊕⊖表示にしたがって電池を入れなおしてください。（p.18）
	電池の残量がない	新しい電池を入れてください。または、ACアダプターを使用してください。
液晶モニターに何も表示されない	パソコンに接続している	パソコンに接続しているときは、液晶モニターは常にオフになります。
	AV機器に接続している	AV機器に接続しているときは、液晶モニターは常にオフになります。
液晶モニターの表示が確認しづらい	液晶モニターの明るさが暗く設定されている	「🔧設定」メニューの「LCDの明るさ」で明るさを調整してください。（p.128）
	節電機能（エコモード）が働いている	節電機能が働いていると、一定時間操作しないときに、液晶モニターの明るさが自動的に暗くなります。何かのボタン操作をすると、元の明るさに戻ります。「🔧設定」メニューの「エコモード」で「オフ」に設定することで、節電機能が働かないようにすることもできます。（p.129）
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボ充電中は撮影できません。充電が完了すると撮影できます。
	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.22、92）
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
	SDメモリーカードに記録された画像、動画、音声のファイルが10000枚に達した	SDメモリーカードを交換するか、不要な画像を消去してください。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	被写体までの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	フォーカスロックをして撮影してください（p.67）。
	フォーカスフレーム内に被写体が入っていない	液晶モニター中央のフォーカスフレーム内に、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものをフォーカスフレーム内にいれてフォーカスロックし、撮りたい構図になおして撮影します（p.67）。
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が（発光禁止）になっている	オートまたは（強制発光）に設定してください。（p.69）
	ドライブモードが、、フォーカスモードが、撮影モードが、	これらのモードではストロボは発光しません。
パソコンとのUSB接続がうまくいかない	PictBridgeモードになっている	カメラのUSB接続モード「PC」に切り替えてください。（p.126）
プリンターとのUSB接続がうまくいかない	転送モードが「PC」になっている	転送モードを「PictBridge」に切り替えてください。（p.111）

静電気などの影響により、まれにカメラが正しい動作をしなくなることがあります。このような場合には、電池を入れ直してみてください。入れ直してから再度、電源をオンにしてカメラが正常に動作すれば故障ではありませんので、そのままお使いいただけます。

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	約810万画素	
撮像素子	種別	CCD
	サイズ	1/2.5型
記録画素数	静止画	8M（3264×2448）、5M（2592×1944） 4M（2304×1728）、3M（2048×1536） 2M（1600×1200）、1024（1024×768） 640（640×480）（単位はピクセル） ※フレーム合成は3M（2048×1536）に固定 ※パノラマは1コマ2M（1600×1200）に固定 ※16連写は1コマ640（640×480）に固定、 1枚が2560×1920に固定
	動画	640（640×480）、320（320×240）単位はピクセル
感度	オート、マニュアル（ISO 100/200/400/800/1600）（標準出力感度） ※ISOオートにおいてはISO 100～800の間で自動調整 ※Digital SRモード選択時はISOオートでISO1600まで自動調整	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2準拠）、DCF2.0準拠、DPOF対応、 PictBridge対応、PRINT Image Matching III対応
	動画	AVI（Motion JPEG準拠）、約30fps／約15fps（フレーム／秒）、 音声付
	音声	WAVE（PCM）方式、モノラル
記録媒体	内蔵メモリー（約9.5MB）、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード	

静止画撮影枚数

	★★★（S.ファイン）		★★（ファイン）		★（エコノミー）	
	内蔵メモリー	512MB	内蔵メモリー	512MB	内蔵メモリー	512MB
8M 3264×2448	2枚	137枚	5枚	268枚	7枚	371枚
5M 2592×1944	3枚	192枚	7枚	371枚	10枚	536枚
4M 2304×1728	4枚	241枚	9枚	483枚	13枚	690枚
3M 2048×1536	5枚	301枚	12枚	603枚	17枚	878枚
2M 1600×1200	9枚	483枚	16枚	805枚	24枚	1208枚
1024 1024×768	19枚	966枚	33枚	1611枚	43枚	2101枚
640 640×480	39枚	1933枚	62枚	3021枚	83枚	4029枚

撮影枚数は目安です。SD メモリーカードや被写体により実際の撮影枚数は異なることがあります。

動画撮影時間・音声録音時間

	動画（30fps）		動画（15fps）		音声	
	内蔵メモリー	512MB	内蔵メモリー	512MB	内蔵メモリー	512MB
640 640×480	11秒	8分57秒	23秒	17分54秒	15分33秒	12時間28分30秒
320 320×240	23秒	17分54秒	46秒	35分48秒		

撮影時間・録音時間は目安です。SDメモリーカードや被写体により実際の撮影時間・録音時間は異なることがあります。

レンズ	焦点距離	6.2mm～18.6mm（焦点距離の35mm換算値：約37.5mm～約112.5mm相当）
	F値	F2.8（W）～F5.2（T）
	レンズ構成	5群6枚（両面非球面レンズ3枚使用）
	ズーム方式	電動式
	レンズバリア	電動式
デジタルズーム倍率		約4倍
画像モニター	形式	LCD
	イメージサイズ	2.4型
	ドット数	約11万ドット
	輝度調整	輝度調整2段階(エコモード、ノーマル）
再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大8倍まで、スクロール可）、フォルダ表示、カレンダー表示、回転表示、音声再生、スライドショウ、動画再生、選択消去、画像/音声コピー、デジタルフィルタ（白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄）、明るさフィルタ、トリミング、リサイズ、フレーム合成、赤目補正、プロテクト、DPOF機能あり、起動画面設定	

フォーカスモード	オートフォーカス、マクロ、無限遠、パンフォーカス	
	AF方式	撮像素子によるTTLコントラスト検出方式（マルチ／スポット／コンティニュアス切替可）
	撮影距離範囲（レンズ先端から）	ノーマル　：0.4m～∞（ズーム全域 ） マクロ　　：0.15m～0.5m（広角時） 遠景　　　：∞（ズーム全域） パンフォーカス： 1.5m～∞（広角時）、 5.9m～∞（望遠時） ※「ポートレートモード」「キッズモード」「オートピクチャーモード」「プログラムモード」では、顔認識AF可
	フォーカスロック	シャッターボタン半押しによる
露出機構	測光方式	分割測光
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
撮影モード	グリーン、オートピクチャー、プログラム、夜景、動画、ボイスレコーディング、風景、花、ポートレート、サーフ&スノー、スポーツ、Digital SR、キッズ、ペット、パノラマ、フレーム合成	
動画	連続録画時間	約1秒～内蔵メモリー／SDメモリーカードの容量いっぱいまで（ただし最大で2GBまでの制限あり）
デジタルフィルタ	白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄	
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	シャッタースピード	1/2000秒～1/4秒、最長4秒（夜景モード）
内蔵ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	オート（低照度時）、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減（夜景モード時のみ低速シンクロ可能）
	調光範囲	広角時：約0.15m～6m（感度オートの条件において） 約0.15m～8.5m（Digital SRモード時） 望遠時：約0.4m～3.2m（感度オートの条件において） 約0.4m～4.6m（Digital SRモード時）
ドライブモード	1コマ撮影、セルフタイマー撮影（約10秒後、約2秒後）、連続撮影、16連写	
電源	単3形電池２本（アルカリ、リチウム、ニッケルマンガン、ニッケル水素充電池）、ACアダプターキット（別売）	

電池寿命	撮影可能枚数 約250枚	※撮影可能枚数は CIPA 規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。(CIPA規格抜粋 : 液晶モニターON、ストロボ使用率50%、23℃) ※時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。 ※単3形アルカリ電池使用時
	再生時間 約340分	
	動画撮影時間 約100分	
	音声録音時間 約530分	
外部インターフェイス	USB2.0（ハイスピード対応）/AV端子	
ビデオ出力方式	NTSC/PAL（モノラル音）	
PictBridge	対応プリンター	PictBridge対応のプリンター
	印刷モード	1画像印刷、全画像印刷、DPOF印刷
	用紙サイズ指定	カード、L、2L、ハガキ、100mm×150mm、4"×6"、8"×10"、レター、11"×17"、A4、A3、プリンター設定
	用紙タイプ指定	★★★、★★、★、プリンター設定
	印刷品質設定	★★★、★★、★、プリンター設定
	ふち指定	あり、なし、プリンター設定
外形・寸法	約96.5（幅）× 60（高）× 22（厚）mm（操作部材、突起部を除く）	
質量	約120g（電池、SDメモリーカード含まず）	
撮影時質量	約165g（電池、SDメモリーカード含む）	
主な付属品	単3形アルカリ電池（２本）、USB／AVケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、ストラップ、使用説明書、PC接続ガイド、保証書	

索引

記号

数字

A

D

I

M

N

O

P

S

U

あ行

9 付録

か行

さ行

た行

な行

は行

9 付録

ま行

ら行

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後1年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。［保証期間中のみ有効］

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（離島など、一部の地域を除く）どこからでも電話一本でペンタックス指定の宅配業者がお客様ご指定の日時・場所に梱包資材を持って不具合品を引き取りにお伺いし、専門修理スタッフが修理を行って、お客様ご指定の場所に完成品をお届けするサービスです。

電話受付

0120-97-0405（フリーダイヤル）
受付時間：平日　8:00～21:00
土・日・祝日・年末年始　9:00～18:00

[宅配便・郵便による修理受付、修理に関するお問い合わせ]
PENTAXイメージング・システム事業部
東京サービスセンター

03-3975-4341（代）
〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2
ペンタックス 流通センター内
営業時間： 9:00～17:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

PENTAXイメージング・システム事業部
大阪サービスセンター

06-6271-7996（代）
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9　パールビル2階
営業時間： 9:00～17:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）